Panasonic®

操作マニュアル

パーソナルコンピューター

品番 CF-19 シリーズ

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ユーザーアカウント制御

ユーザーアカウント制御 は、パソコンの不正操作を防ぐ目的で新たに Windows Vista に採用されたセキュリティ機能です。パソコンで重要な操作を実行しようとすると、その都度ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

Windowsサイドバー

初期設定では、Windowsサイドバーは表示されません。表示させるには、(スタート) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [Windowsサイドバー]をクリックしてください。

- 常にサイドバーを表示させるには：
  1. 画面右下のタスクトレイのサイドバーアイコン を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。
  2. [Windows起動時にサイドバーを開始します]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。

無線LANを使うとき

アクセスポイントにつながらなかったり、アクセスポイントが見つからなかったりする場合は、画面右下のタスクトレイの を右クリックし、[ネットワークに接続]をクリックし、[ネットワークに接続]の画面の をクリックしてください。

音声と動画

- PC カードや SD メモリーカードに音声（MP3、WMA 等）や動画（MPG、WMV 等）を記録して再生すると、その途中で途切れることがあります。このような場合には、音声や動画をハードディスクドライブへコピーした上で再生してください。
- AVI ファイルに保存された音声や動画を再生すると、その途中で途切れたり再生が遅れたりすることがあります。このような場合には、画面右下のタスクトレイの または をクリックし、[高パフォーマンス] をクリックしてください。これで問題が解消されることがあります。
- Windows の使用状況によっては、Windows の起動時に音声が途切れることがあります。起動時に音声が出ないように設定するには、次の手順を実行してください。
  1. デスクトップを右クリックし、[個人設定] - [サウンド] をクリックする。
  2. [Windows スタートアップのサウンドを再生する] からチェックマークを外し、[OK] をクリックする。

キーの組み合わせによる操作

お知らせ

- 繰り返し連続して押さないでください。
- フラットパッド、外部マウス、タッチパネル、タブレットボタンなどを操作しながら押さないでください。
- Windowsにログオンするまで、操作は行わないでください。ハードディスク状態表示ランプ が消えるまでお待ちください。セットアップユーティリティの画面では、Fn+F1、Fn+F2、Fn+F3のキー操作のみ働きます。
- アプリケーションソフトによっては働かない場合があります。
- Windowsにログオンすると、ポップアップアイコンが表示されます。ただし、アプリケーションソフトの状態によっては表示されない場合があります。

キー	機能	ポップアップアイコン
Fn+F1 Fn+F2	**内部 LCD の輝度調整** (Fn+F1= 下げる／ Fn+F2= 上げる)	
Fn+F3	**画面の表示先の切り替え**（➔42 ページ） (外部ディスプレイ接続時) 内部 LCD → 同時表示 → 外部ディスプレイ お願い ● 画面表示が切り替わるまで他のキーを押さないでください。 ● 次の場合はこの機能を使わないでください。 ・外部ディスプレイが接続されていないとき ・DVD-VideoやMPEGファイルなどの動画を再生しているとき ・拡張デスクトップモードを使用しているとき お知らせ ● Windows が起動するまで（セットアップユーティリティなど）は、同時表示にすることができません。Fn+F3を押すと、外部ディスプレイまたは内部 LCDに切り替わります。	—

キーの組み合わせによる操作

キー	機能	ポップアップアイコン
Fn+F4	音声出力のオン／オフ お知らせ ● 音声出力をオフにすると、ビープ音も鳴りません。	オフ（ミュート） オン
Fn+F5 Fn+F6	音量調整 （Fn+F5= 下げる／ Fn+F6= 上げる） お知らせ ● 音量を微調整するときは、Fnを押したままF5またはF6を断続的に押してください。	
Fn+F7	スリープ状態に入る（➔15 ページ）	—
Fn+F9	バッテリー残量確認	（➔24 ページ）
Fn+F10	休止状態に入る（➔15 ページ）	—

Hotkey設定

次の 2 つの設定をすることができます。

- **Fn キーロック**
  Fn を押した後、他のキーを押すまで 、 **Fn** が押された状態（ロック状態）になります。キーの組み合わせが押しにくい場合に便利です。
- **ポップアップアイコンの表示／非表示**

1 **Hotkey設定プログラムを起動する。**
(スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [Hotkey 設定]をクリックする。

2 **各項目を設定する。**
[Fnキーをロックする]
● **Fn** を 1 回だけ押す場合
① **Fn**を1回押す。（ロック状態）
② 組み合わせる他のキーを押す。（ロック状態解除）
● **Fn** を連続して使う場合
① **Fn**を2回押す。（ロック状態）
② 組み合わせる他のキーを押す。（再度**Fn**を押すまでロック状態のままです。）

[通知方法]
[Fnキーが押されたときに音を鳴らす][*1]
[Fnキーの状態を画面に表示する]：**Fn**の状態を画面右下のタスクトレイに表示します。
- ：**Fn** ロック状態
- ：**Fn** ロック解除

[ポップアップを表示しない]
ポップアップアイコンが表示されなくなります。

3 **[OK]をクリックする。**

お知らせ

● Hotkey設定は、ユーザーごとに設定できます。

*1 音声出力をオフにしていると、ビープ音は鳴りません。

タブレットボタン

ボタン	機能
▼ ☼ ▲	**LCD の輝度調整** ▼: 下げる／▲: 上げる
	入力パネル Tablet PC 入力パネルの起動／終了 ● ようこそ画面では使えません。
	Enter **Enter** と同じ働きをします。
	回転 画面が回転します。(➔12 ページ) ● 画面の回転が完全に終わるまで、再度回転ボタンを押さないでください。
	セキュリティ **Ctrl** + **Alt** + **Del** と同じ働きをします。

お知らせ

- タブレットボタンは、Windows の画面が表示されているときに働きます。
- Windowsが起動した直後や、Windowsのログオン画面（またはようこそ画面）が表示された直後は、タブレットボタンが働かない場合があります。

タブレットボタンの設定

お知らせ

- タブレットボタンは、ユーザーごとに設定できます。
- Windowsのログオン画面またはようこそ画面では、タブレットボタンは初期設定で動作します。

■ 設定を変更する

入力パネルボタン、Enter ボタン、および回転ボタンの機能を変更することができます。

1 設定画面を開く。
(スタート) - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [タスクの実行用のタブレット ボタンの設定] をクリックする。

2 変更したいボタンを選んで[変更]をクリックする。

3 [押す]と[プレス アンド ホールド]から機能を選択する。
- [キーまたはキーの組み合わせを押す]を選んだ場合、 Fnを割り当てることはできません。
- [プログラムを起動する]を選んだ場合は、[参照]をクリックして起動したいアプリケーションを選んでください。

4 [OK]をクリックする。

5 [OK]をクリックする。

タッチパネル

タッチパネル機能を使って、フラットパッドやマウスと同様の操作ができます。付属のスタイラスペンで画面の表面に触れてください。
詳しくは(スタート) - [すべてのプログラム] - [Tablet PC] - [Tablet PC タッチ トレーニング]をクリックしてください。

- **右クリックするには**

  ① スタイラスペンで右クリックの対象を指し続けるか、または右クリックの対象を指しながら「タッチ ポインタ」の右ボタンを選択する。

お知らせ

- タッチパネル機能はセットアップユーティリティでは使えません。

タッチパネルの操作

■ 指または付属のスタイラスペンでタッチパネルを操作する

タッチパネル機能を使うときは、必ず指または付属のスタイラスペンで表面に触れながら操作してください。
指やスタイラスペン以外の物（指の爪や金属、硬くて先のとがった物）でタッチパネルを操作すると、表面に傷跡や汚れがついて誤動作の原因になることがあります。

■ 大きな力をかけずに操作する

タッチパネルは軽く触れるだけで操作できます。大きな力をかけると表面を傷つけることがあります。

タッチパネルのお手入れ

■ 汚れは付属の専用布でふき取る

タッチパネルには専用の処理が施されていますので、汚れは専用布で簡単にふき取ることができます（必ず付属の専用布を使用してください）。簡単に汚れが落ちなければ、表面に息を吹きかけてからふき取ってください。
専用布に水や溶剤を染み込ませてふき取らないでください。

■ パソコンの電源を切ってから清掃する

電源を入れて画面を清掃すると、パソコンが誤動作を起こす原因になります。また、タッチパネルの汚れは電源が切れているときの方が目立つため、清掃がしやすくなります。

■ 専用布の汚れを洗い落とす

専用布の汚れは刺激の少ない洗剤で洗濯してください。漂白剤や布地用柔軟剤（軟化剤）を使ったり、沸騰したお湯で布を殺菌しないでください。
汚れた専用布を使用すると、タッチパネルに汚れが付着する原因になります。

■ タッチパネル表面のひっかき傷を防ぐ

次の項目をチェックしてください。

- 指またはスタイラスペンでタッチパネルを操作しているか
- 表面に汚れがないか
- 専用布に汚れがないか
- スタイラスペンの先端が変形していないか
- スタイラスペンの先端に汚れがないか
- 指に汚れがないか

タッチパネル操作時の注意事項

■ 表示領域の外に触れない

タッチパネルの入力範囲はディスプレイ画面の表示内です。表示領域の外に触れると、タッチパネルの誤動作や損傷を招く原因になります。

■ タッチパネルに必要以上の力をかけない

内部 LCD をつかんでパソコンを持ち上げたり画面をねじったりしないください。また、内部 LCD に物を載せないでください。このような取り扱いをすると、タッチパネルのガラス面や内部 LCD が破損することがあります。

■ 気温の低下に伴って操作時の応答速度が低下する

パソコンを気温 5 ℃ 未満の環境下で使用すると、タッチパネルの応答速度が低下することがありますが、これは誤動作ではありません。パソコンが室温まで温まると応答速度は正常な状態に戻ります。

■ 画面で触れた位置とは異なる位置へカーソルがジャンプしたときや、内部 LCD の解像度が変更されたときは、タッチパネルの補正（キャリブレーション）を実行する

「タッチパネルの補正（キャリブレーション）」（➔10 ページ）を実行してください。

タッチパネルの補正（キャリブレーション）

標準ユーザーが各自の補正を実行する前に、管理者権限で補正を実行しておくことが必要です。

■ 管理者権限での補正

お知らせ

- まず管理者権限で Windows にログオンしてから、この補正を実行してください。
- この補正は、画面を[横(プライマリ)]に戻してから実行してください。

1 補正ツールを起動する。

(スタート) - [コントロールパネル] - [その他のオプション] - [タブレットの補正]をクリックする。

2 画面上の 9 か所に“+”マークが表示されるので、スタイラスペンで順に触れる。

■ ユーザーごとの補正

お知らせ

- ユーザーごとに次の補正（キャリブレーション）を実行してください。

1 補正ツールを起動する。

(スタート) - [コントロールパネル] - [モバイル コンピュータ] - [Tablet PC 設定]をクリックする。

2 [調整]をクリックする。

3 画面上の 4 か所に“+”マークが表示されるので、スタイラスペンで順に触れてから、[OK]をクリックする。

- 使用する画面の向きを対象に補正（キャリブレーション）を実行してください。

Panasonic手書き

フラットパッドやタッチパネルに、サインなどの簡単な文字や図形を描いて、ビットマップ形式（.bmp）のファイルとして保存することができます。

お願い

- 「Panasonic手書き」を起動しているときは、ユーザーの簡易切り替え機能を使わないでください。
- 市販のポインティングデバイス（マウスなど）のドライバーをインストールして、フラットパッドのドライバーを上書きすると、「Panasonic手書き」は動作しません。

お知らせ

- ディスプレイの色数を変更すると、「Panasonic手書き」の画面が乱れることがあります。その場合は、画面右下のタスクトレイのを右クリックして[Panasonic手書きの終了]をクリックした後、再度「Panasonic手書き」を起動してください。
- 他のアプリケーションソフトを同時に実行していると、「Panasonic手書き」で正しく描画できないことがあります。その場合は、他のアプリケーションソフトを閉じてください。

「Panasonic手書き」を起動する

1 画面右下のタスクトレイの をダブルクリックする。

または、(スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [Panasonic手書き]をクリックする。

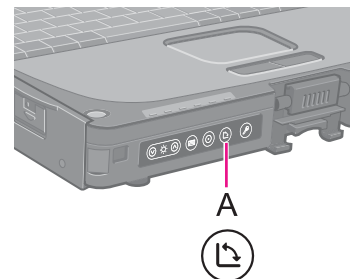
お知らせ

- 画像サイズの変更は、描画する前に[オプション] - [画面サイズの設定]で行ってください。描画した後でサイズを変更すると、画質が悪くなります。
- [編集] - [コピー]をクリックすると、ビットマップ画像をコピーして、他のビットマップ形式対応のアプリケーションソフトに貼り付けることができます。
- 拡張デスクトップモードを使用しているときは、フラットパッドモードが正しく働かないことがあります。
- 画面を90°または270°に回転させているときは、フラットパッドモードが正しく働かないことがあります。
- 次の場合はフラットパッドモードが終了します。
  - 他のアプリケーションソフトに切り替えたとき
  - スリープまたは休止状態からリジュームしたとき
  - Altを押したとき
  - タッチパネルに触れたとき

画面を回転させる

1 回転ボタン(A)を押す。

ボタンを押すたびに、反時計回りに90°回転します。

A

お知らせ

- 以下の方法でも、画面を回転させることができます。
  (スタート)- [コントロールパネル] - [モバイル コンピュータ] - [画面の向きの変更]をクリックする。
- 画面を回転させているとき:
  - 拡張デスクトップモードを使わないでください。フラットパッド、タッチパネルが正しく動作しないことがあります。
  - 管理者権限での補正(➔10ページ)を実行しないでください。ただし、ユーザーごとの補正(➔10ページ)は実行できます。
  - 画面の解像度を内部 LCD の解像度より高く設定しないでください。
  - パソコンの性能が少し落ちます。
  - フラットパッドのスクロール、ズーム、データズーム機能は働きません。
- 動画の再生中に画面を回転させると、画面が正しく表示されなかったり、音声が途切れたりすることがあります。
  画面を[横(プライマリ)]に戻すと正しく再生されます。
- Windows を起動してログオン直後に画面を回転させると、しばらくして画面が回転前の状態に戻ることがあります。
  この場合は、改めて画面を回転させてください。

設定を変更する

1 **画面右下のタスクトレイのを右クリックして、[画面回転の設定]をクリックする。**

「Display Rotation Tool」画面が表示されます。

2 **設定を変更する。**

A : 次の場合に、画面は自動的に標準角度になります。

- ラップトップモードからタブレットモードに、またはその逆に切り替えたとき
- Windows を起動したとき
- ユーザーの簡易切り替え機能で別のユーザーがログオンしたとき

3 **[OK]をクリックする。**

Display Rotation Tool

A

ラップトップモード時の標準角度

横(プライマリ)　縦(セカンダリ)

横(セカンダリ)　縦(プライマリ)　変更しない

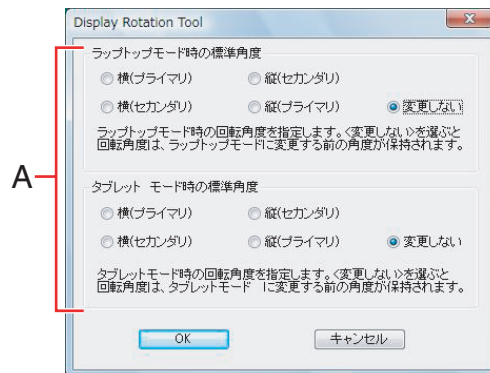
ラップトップモード時の回転角度を指定します。＜変更しない＞を選ぶと回転角度は、ラップトップモードに変更する前の角度が保持されます。

タブレット　モード時の標準角度

横(プライマリ)　縦(セカンダリ)

横(セカンダリ)　縦(プライマリ)　変更しない

タブレットモード時の回転角度を指定します。＜変更しない＞を選ぶと回転角度は、タブレットモード　に変更する前の角度が保持されます。

OK　キャンセル

お知らせ

- 次の手順で、画面の向きが変更される順序を設定することができます。
  (スタート) - [コントロールパネル] - [モバイル コンピュータ] - [画面の向きの変更] - [変更]をクリックする。

スリープ・休止状態機能

パソコンをすばやく起動するとき

「スリープ」や「休止状態」機能を使うと、アプリケーションソフトやファイルを閉じることなくパソコンの操作を終わることができます。操作を再開すると、スリープまたは休止状態に入る前に実行していたアプリケーションソフトやファイルにすばやく戻ることができます。

機能	状態の保存先	復帰するまでの時間	電力供給
スリープ	メモリー	短い	必要（スリープ中に電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。）
休止状態	ハードディスク	やや長い	不要（ただし、休止状態を維持するために若干の電力が消費されます。）

使用上のお願い

- 長時間スリープ状態にしておく場合は、AC アダプターを接続してください。AC アダプターを接続できない場合は、スリープ状態ではなく休止状態にしてください。
- スリープまたは休止状態を繰り返すと、パソコンが正常に動作しなくなる場合があります。パソコンの動作を安定させるため、定期的に（1 週間に 1 回程度）スリープまたは休止状態機能を使わずに Windows を再起動してください。
- 大切なデータは保存してください。
- リムーバブルディスクやネットワークドライブから開いたファイルは閉じてください。
- 休止状態に入るまでに 1 ～ 2 分かかる場合があります。画面が暗くなりますが、いずれのキーにも触れないでください。
- リジューム（➔16 ページ）の際は、セットアップユーティリティで設定したパスワードは要求されません。スリープまたは休止状態のときのセキュリティには、Windows のパスワードをお使いください。初期設定では、リジューム時に Windows のパスワード入力画面が表示されます。
- 下記の場合は、スリープ・休止状態に入らないでください。実行中のファイルやデータが壊れたり、スリープ・休止状態が働かなくなったり、パソコンおよび周辺機器が正常に動作しなくなることがあります。
  - ハードディスク状態表示ランプ と SD メモリーカード状態表示ランプ SD の点灯中、または CD/DVD ドライブ状態表示ランプの点滅中（ドライブまたはカードへのアクセス中）
  - オーディオファイルの録音・再生中や、MPEG ファイルなどの動画の再生中
  - DVD-Video の再生中
  - ディスクへの書き込み中
  - 通信ソフトやネットワーク機能を使用しているとき
  - 周辺機器の使用中
    （周辺機器が正常に動かなくなったときは、パソコンを再起動してください。）

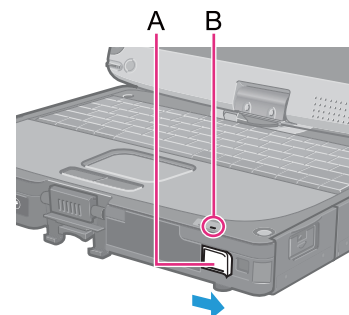
スリープ・休止状態に入る／リジュームする

■ スリープ・休止状態に入る

1 **ディスプレイを閉じるか、ビープ音[*1]が鳴るまで電源スイッチ（A）をスライドする。**

電源状態表示ランプ（B）で状態を確認してください。
スリープ：電源状態表示ランプが緑色に点滅する。
休止状態：電源状態表示ランプが消える。

- Windows のメニューを使ってスリープ・休止状態に入ることもできます。
  (スタート) - - [スリープ] / [休止状態]をクリックする。

A B

お願い

スリープ・休止状態処理中

- 次の操作をしないでください。
  - キーボード、フラットパッド、タッチパネル、タブレットボタン、電源スイッチの操作
  - 外部マウスや周辺機器を使う
  - ACアダプターの接続や取り外し
  - 無線スイッチの入／切
  - ディスプレイの開閉
  - SD メモリーカードの取り付け／取り出し

  電源状態表示ランプが緑に点滅（スリープ）または消灯（休止状態）するまでお待ちください。
- スリープ・休止状態に入るまでに 1～2 分かかる場合があります。
- ビープ音[*1]が鳴ったら、すぐに電源スイッチを離してください。手を離してから、電源状態表示ランプが点滅または消灯するまで電源スイッチを操作しないでください。電源スイッチを4秒以上スライドすると、パソコンが強制終了し、[電源ボタンを押したときの動作]を[電源ボタンの動作の変更]のいずれかの項目に設定していたとしても、保存されていないデータは失われます。

スリープ・休止状態のとき

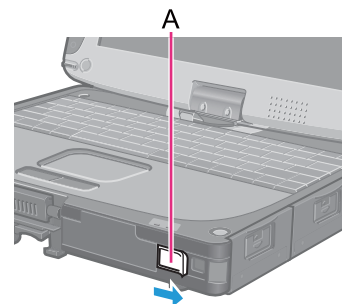
- 周辺機器の接続・取り外しを行わないでください。誤動作の原因になります。
- スリープ状態では電力が消費されています。特に、PCカード挿入時は電力消費量が増えることがあります。電力の供給がなくなると、保持されていたデータが失われます。スリープ機能を使うときは、ACアダプターを接続してください。

[*1] 音声出力をオフにしていると、ビープ音は鳴りません。

■ スリープまたは休止状態からリジュームする

1 **ディスプレイを開けるか、または電源スイッチ（A）をスライドする。**

- 初期設定では、リジューム時に Windows のパスワード入力画面が表示されます。

A

お願い

- リジュームが完了するまで、下記の操作をしないでください。画面表示のリジューム後、約15秒（通常）または1分（ネットワーク接続しているとき）お待ちください。
  - キーボード（パスワードの入力以外）、フラットパッド、タッチパネル、タブレットボタン、電源スイッチの操作
  - 外部マウスや周辺機器を使う
  - ACアダプターの接続や取り外し
  - ディスプレイの開閉
  - Windowsの終了または再起動
  - スリープまたは休止状態に入る（約 1 分間お待ちください）
  - 無線スイッチの入／切
  - SD メモリーカードの取り付け／取り出し
- USB キーボードやマウスを接続した状態で、パソコンがスリープ状態に入ったとき、USB キーボードのキーまたはマウスに触れると、パソコンはリジュームを実行します。

お知らせ

- <Bluetooth 内蔵モデルのみ>
  スリープ・休止状態からリジュームしたとき、「TosBtMng は動作を停止しました」のメッセージが表示される場合があります。
  [プログラムの終了]をクリックしてください。
  Bluetooth接続が切れたときは、(スタート）- [すべてのプログラム] - [Bluetooth] - [Bluetooth設定]をクリックしてから、改めて接続し直してください。

スリープ・休止状態の設定

■ スリープ状態

1 **画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[その他の電源オプション]をクリックする。**

2 **変更したい電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。**

3 **[コンピュータをスリープ状態にする]の設定内容を変更し、[変更の保存]をクリックする。**

- スリープ状態への移行時間を変更すると、休止状態に移行する時間が変更になる場合があります。
休止状態に移行する時間を確認してください（下記）。工場出荷時の設定（1080 分）よりも短く設定しないようにしてください。

■ 休止状態

1 **「スリープ状態」の手順*1*（上記）を実行してから、[詳細な電源設定の変更]をクリックする。**

2 **[スリープ] - [次の時間が経過後休止状態にする]をダブルクリックする。**

3 **項目を選択して設定内容を変更する。**

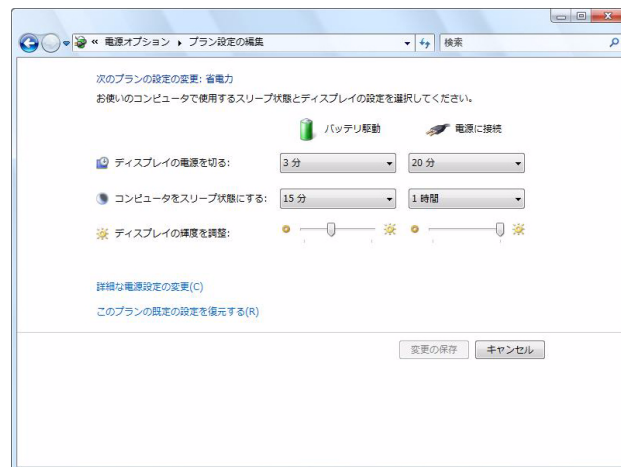
4 **[OK]をクリックする。**

消費電力を節約する

以下の設定を行うと省電力の効果があり、バッテリーで使用する場合はより長時間使えるようになります。

無駄な電力を使わない

電源の設定を変更したり、画面の明るさを調整したりして、消費電力を節約することができます。

- **[電源オプション]を変更する**
  (スタート) - [コントロールパネル] - [システムとメンテナンス] - [電源オプション]をクリックして[省電力]を選択します。
  工場出荷時は[パナソニックの電源管理]に設定されていますが、[省電力]に変更することでさらに消費電力が節約できます。
  さらに、[ディスプレイの電源を切る]で設定されている時間を短くするなど、使用状況に応じて詳細に設定してください。
- **省電力設定ユーティリティを使う**➔19ページ
  上記の[電源オプション]ではできない、いろいろな省電力機能を利用することができます。
- **Fn + F1 で内部 LCD の明るさを暗くする**
  内部 LCD の明るさを下げることで、消費電力を抑えます。
- **使わないときはパソコンの電源を切る**
  無線 LAN（➔55 ページ）、または Bluetooth（➔62 ページ）の電源を個別に切ることもできます。
- **使わない周辺機器（USB 機器、PC カード、外部マウスなど）は取り外す**
- **スリープ・休止状態を活用する**
  パソコンからしばらくの間離れるときは、 Fn + F7でスリープ状態、またはFn + F10で休止状態にしてください。パソコンの動作が停止し、消費電力を抑えることができます。
  また、有線 LAN Wake Up 機能／無線 LAN Wake Up 機能を使わない場合は、無効に設定してください。スリープ・休止状態での消費電力を抑えることができます。
  現在の設定は、(スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [省電力設定ユーティリティ] - [詳細]をクリックし、[スタンバイ中の有線 LAN の省電力機能]または[スタンバイ中の無線 LAN の省電力機能]をご覧ください。

省電力設定ユーティリティを使う

次の省電力機能を一度にまとめて設定することができます。バッテリー駆動時間を長くしたい場合は有効に設定してください。

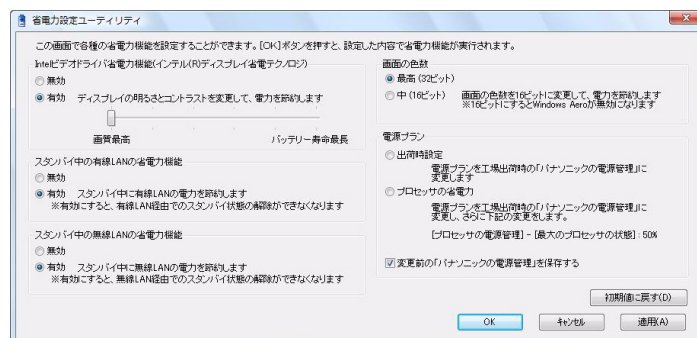
- **Intel ビデオドライバ省電力機能（インテル(R)ディスプレイ省電テクノロジ）**
  画像のコントラストや色などを調整することにより、画質をある程度保った状態で内部 LCD の消費電力を抑えます。
  画像や色の微妙な表現力が必要な場合や画像編集用アプリケーションソフトで画像編集を行う場合は、無効に設定することをお勧めします。
- **スタンバイ中の有線 LAN の省電力機能**
  [有効]の場合、有線 LAN Wake Up 機能を無効にして、スリープ・休止状態での消費電力を抑えます。
  有線 LAN Wake Up 機能をお使いになる場合は、[無効]に設定する必要があります。
- **スタンバイ中の無線 LAN の省電力機能**
  [有効]の場合、無線 LAN Wake Up 機能を無効にして、スリープ・休止状態での消費電力を抑えます。
  無線 LAN Wake Up 機能をお使いになる場合は、[無効]に設定する必要があります。
- **画面の色数**
  [画面の設定]で[色]を[中(16ビット)]に設定します。
- **電源プラン**
  電源プランを[パナソニックの電源管理]（初期設定）に設定するとともに、以下のように設定内容を変更します。
  [プロセッサの電源管理]で[最大のプロセッサの状態]を[100 %]から[50 %]へ変更します。

■ 設定方法

省電力設定ユーティリティの有効／無効は、次の手順で切り替えてください。

1 **(スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [省電力設定ユーティリティ] - [詳細]をクリックする。**

2 **設定したい各機能の[有効]をクリックする。**
確認画面が表示されたら、内容を確認して[OK]をクリックしてください。
- [Intel ビデオドライバ省電力機能] を有効にするには [有効] をクリックし、スライドバーを [バッテリー寿命最長] 側に設定してください。

3 **[OK]をクリックする。**
[初期値に戻す]をクリックして[OK]をクリックすると、工場出荷時の設定に戻ります。

お知らせ

- 省電力設定ユーティリティで設定できる各項目は、次の方法でも個別に設定することができます。
  - [Intelビデオドライバ省電力機能]を有効にする
    ① デスクトップを右クリックし、[グラフィック プロパティ]をクリックする。
      - [Intel® Graphics Media Accelerator Driver for mobile]画面が表示されます。
    ② [ノートブック] - [適用]をクリックして、[OK]をクリックする。
    ③ [ディスプレイ設定]をクリックする。
    ④ [電源設定]をクリックする。
    ⑤ [インテル(R)ディスプレイ省電テクノロジ]をクリックして、チェックマークを付ける。
    ⑥ スライドバーを[バッテリー寿命最長]側に設定し、[OK]をクリックする。
    ⑦ [OK]をクリックする。（再起動の必要はありません。）
  - 有線 LAN Wake Up 機能を有効／無効にする➔51ページ
  - 無線 LAN Wake Up 機能を有効／無効にする➔60ページ

セキュリティ機能

大切なデータを守るために、セキュリティ機能を使うことをお勧めします。

- 他のセキュリティ機能については下記をご覧ください。
  - 内蔵セキュリティ（TPM）（➔73 ページ）：詳しくは 『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。

スーパーバイザーパスワード／ユーザーパスワードを設定する

ユーザーパスワードを設定する前に、スーパーバイザーパスワードを設定してください。

1. **セットアップユーティリティを起動する（➔68ページ）。**
2. **「セキュリティ」を選ぶ。**
3. **「スーパーバイザーパスワード設定」または「ユーザーパスワード設定」を選び、Enterを押す。**
4. **「新しいパスワードを入力してください」にパスワードを入力し、Enterを押す。**
   - パスワードがすでに設定されている場合は、「現在のパスワードを入力してください」にパスワードを入力して Enter を押してください。
   - パスワードを無効にする場合は、入力欄を空欄にして Enter を押してください。
5. **「新しいパスワードを確認してください」に再度パスワードを入力し、Enterを押す。**
6. **「セットアップ通知」で Enterを押す。**
7. **F10を押し、「はい」を選んでEnterを押す。**

お願い

- パスワードを忘れないようにしてください。スーパーバイザーパスワードを忘れると、パソコンの動作環境の設定（パスワード設定、起動ドライブの選択など）ができなくなります。その場合はご相談窓口にご相談ください。
- セットアップユーティリティを起動しているときは、他の人にパスワードを設定・変更されないようにパソコンから離れないでください。

お知らせ

- パスワードは画面に表示されません。
- 入力できる文字は、半角の英数字（スペースを含む）で最大32文字です。
  - 大文字、小文字は区別されません。
  - 数字の入力にテンキーは使用できません。
  - パスワードの入力にShiftとCtrlは使用できません。
- スーパーバイザーパスワードを無効にすると、ユーザーパスワードも無効になります。

パソコンを無断で使用されたくないとき

起動時のパスワードを設定することにより、他の人の無断使用からパソコンを守ることができます。

1　パスワードを設定し（➔21ページ）、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「起動時のパスワード」を「有効」に設定する。（➔73ページ）

お知らせ

- スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードが設定されていると、「起動時のパスワード」が「無効」であっても、セットアップユーティリティ起動時にパスワード入力画面が表示されます。

ハードディスク内のデータを読み書きされたくないとき

ハードディスクを別のパソコンに取り付けたときに、ハードディスクのデータを読み書きされないようにすることができます。ハードディスクを元のパソコンに戻すと、データの読み書きができます。（ハードディスク保護はデータの完全な保護を保証するものではありません。）

1　セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで、「ハードディスク保護」を「有効」に設定する。（➔73ページ）

お願い

- 元のパソコンでデータの読み書きをするには、セットアップユーティリティの設定が、ハードディスクを取り外す前と同じでなくてはなりません。
- スーパーバイザーパスワードを設定しないと、ハードディスク保護機能は使えません。あらかじめスーパーバイザーパスワードを設定しておいてください（➔21ページ）。
- ハードディスクの修理を依頼する際は：
  - 「ハードディスク保護」が「無効」になっていることを確認してください。

お知らせ

- ハードディスク保護機能は、内蔵ハードディスクにのみ働きます。外付けのハードディスクには働きません。
- 「起動時のパスワード」は、ハードディスク保護機能を有効にするためには必要ありませんが、セキュリティをより確実にするために「有効」にしておくことをお勧めします。

バッテリー状態表示ランプ

バッテリー状態表示ランプ	バッテリーの状態
消灯	バッテリーパックが取り付けられていません。または、充電が行われていません。
オレンジ色点灯	バッテリーの充電中です。
緑色点灯	バッテリーの充電完了です。
緑色点滅	高温モード時に、バッテリー残量が常温モード時の約 80%[*1] になるまで放電しています（➔25 ページ）。この状態でバッテリーパックを取り外さないでください。
赤色点灯	バッテリー残量が、約 9% 以下になっています。
赤色点滅	バッテリーパックまたは充電回路が正常に動作していません。
オレンジ色点滅	以下の理由で、バッテリーは一時的に充電できない状態です。 • 内部の温度が充電可能範囲外になっている。 • 消費電力量の多いアプリケーションソフトまたは周辺機器を起動しているため、充電するための電力が不足している。
緑色とオレンジ色が交互に点滅	低温時にハードディスクが誤動作するのを防ぐため、ハードディスクをウォームアップしています。ウォームアップ後、パソコンは自動的に起動します。

*1 高温モード時におけるバッテリー残量100%は、常温モード時の80%と同等です。

お知らせ

- 過充電を防ぐため、いったんバッテリーが満充電になると、バッテリー残量が約95%以下になるまで再充電されません。

バッテリー残量を確認する

バッテリー残量を画面上で確認できます。

(Windows にログオンした後)

1 **Fn + F9を押す。**

- バッテリーパック装着時（例）

100 %：常温モード時（➔25ページ）

100 %：高温モード時（➔25ページ）

- バッテリーパック未装着時

-- %

お知らせ

- 次のような場合、表示されるバッテリー残量と実際のバッテリー残量が合わないことがあります。正しく表示させるにはバッテリー残量表示補正（➔27ページ）を行ってください。
  - バッテリー状態表示ランプの赤色点灯が長く続く。
  - バッテリー状態表示ランプがオレンジ色に点灯し、「99%」の表示が長く続く。
  - 使用時間が短いにもかかわらず、バッテリー状態表示ランプが赤色に点灯する。
    （AC アダプターから電力の供給がないまま長時間スリープ状態にしていると、このような状態になる場合があります。）
- バッテリーの残量表示が画面右下のタスクトレイの表示と異なる場合があります。故障ではありません。

高温モード

パソコンを高温環境下で使用したり、満充電の状態で長時間使用したりするときは、高温モードにするとバッテリーの劣化を防ぐことができます。
セットアップユーティリティの「メイン」メニューの「環境」を「自動」（工場出荷時の設定）または「高温」にしてください。（➔70 ページ）

お知らせ

- 高温モード時におけるバッテリー残量100%は、常温モード時のバッテリー残量80%と同等です。
- 「常温」から「高温」またはその逆に切り替えると、バッテリーがいったん完全に充電または放電されるまで、バッテリー残量が正しく表示されません。
- 「自動」モード：
  いったん常温モードから高温モードへ自動的に切り替わると、バッテリーの劣化を防ぐために、切り替え後の充電量の合計が満充電量の約5倍になるまで常温モードに切り替わりません。

バッテリー残量が少なくなったときの動作

工場出荷時の設定は以下のとおりです。

バッテリー残量が 10% になったら 「バッテリー低下アラーム」	バッテリー残量が 5% になったら 「バッテリー切れアラーム」
● 残量が少ないことを知らせるメッセージを表示します。 ↓	● パソコンは休止状態に入ります。 ↓
充電が必要です。	AC アダプターを接続するか、バッテリーパックを交換して、パソコンを起動してください。
● AC アダプターをすぐに接続してください。AC アダプターがない場合は、動作中のプログラムを終了し、Windows を終了してください。 ● 充電してある予備のバッテリーパックがある場合は、電源を切りバッテリーパックを交換して、再度電源を入れてください。	● AC アダプターを接続し、バッテリーを充電してください。 ● 充電してある予備のバッテリーパックがある場合は、電源を切りバッテリーパックを交換して、再度電源を入れてください。 バッテリー切れで休止状態になった場合、そのままリジュームすると、Windows が正常に起動しなくなったり、[バッテリー低下のレベル]/[バッテリー切れのレベル]機能が正常に動作しなくなる場合があります。

バッテリー容量を正確に表示させる（バッテリー残量表示補正）

バッテリー残量表示補正機能を使うと、バッテリー容量を計測し記憶させることができます。バッテリー残量を正確に表示させるために、この機能を使っていったん満充電にしてから完全に放電させてください。この操作は、お買い上げ後すぐに、少なくとも一度は行ってください。バッテリー残量表示補正は、通常 3 か月おきに実施してください。長くバッテリーパックをお使いの間には、バッテリーパックの劣化などにより、残量が正確に表示されなくなる場合があります。その場合もこの操作を行ってください。

1 **AC アダプターを接続する。**

2 **すべてのアプリケーションソフトを終了する。**

3 **バッテリー残量表示補正を実行する。**

① (スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [バッテリー] - [バッテリー残量表示補正ユーティリティ]をクリックする。

② 確認メッセージが表示されたら、[開始]をクリックする。

- バッテリー残量表示補正を頻繁に行うと、バッテリーが劣化する原因になります。前回補正してから約 1 か月以内に実行すると、注意を促すメッセージが表示されます。その場合は、バッテリー残量表示補正を実行しないでください。

③ Windowsを終了するメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。
バッテリー残量表示補正が始まります。
満充電になった後、バッテリーの放電が始まります。放電が完了すると、自動的に電源が切れます。

バッテリー残量表示補正が終了すると、通常の充電が始まります。

お知らせ

- 10°C ～ 30°C の温度環境で実行してください。低温で実行すると、正しく補正されない場合があります。
- バッテリー容量が大きいため、バッテリー残量表示補正に時間がかかりますが、故障ではありません。
  - 満充電にかかる時間：最大約4.5時間
  - 完全放電にかかる時間：約4.5時間
- バッテリー残量表示補正実行中にパソコンの電源を切ると（停電や、誤ってACアダプターまたはバッテリーパックを取り外すなど）、バッテリー残量表示は補正されません。
- バッテリー残量表示補正は、次の手順でも実行できます。

  ① パソコンを再起動する。
  ② パソコンの起動後すぐ、[Panasonic]起動画面が表示されている間に**F9**を押す。
  ③ バッテリー残量が表示されたら**Enter**を押す。
  ④ 画面の指示に従って操作を行う。

バッテリーパックを交換する

バッテリーパックは消耗品のため、交換が必要になります。バッテリーによる駆動時間が著しく短くなり、バッテリー残量表示補正を実行した後でも性能が回復しない場合は、新しいものと交換してください。

お願い

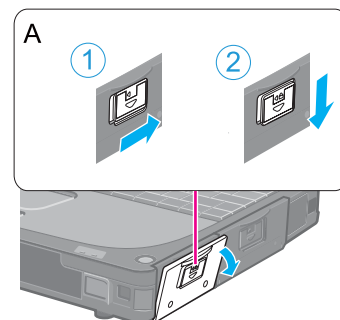
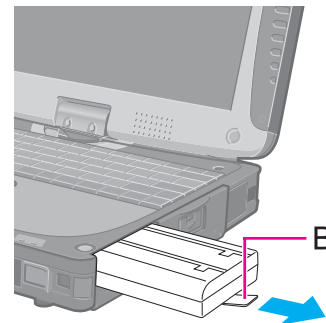
- バッテリーパックは、お買い上げ時には充電されていません。初めてお使いになる前に必ず充電してください。ACアダプターを接続すると自動的に充電が始まります。
- スリープ状態に入っているときは、バッテリーパックの取り外しや交換を行わないでください。データが失われたり、パソコンが故障したりする可能性があります。

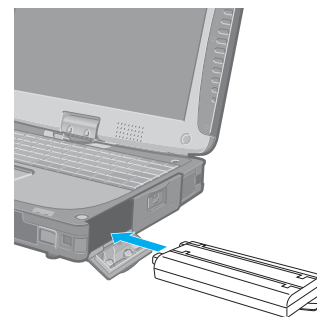
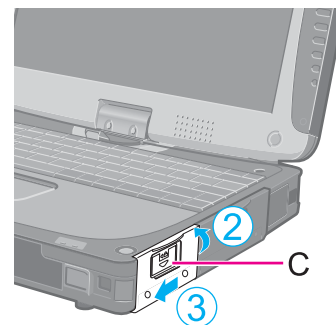
1 **パソコンの電源を切る。**

- スリープ機能は使わないでください。

2 **バッテリーパックを取り外す／取り付ける。**

- 取り外すには

① ラッチ（A）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。
② ラッチ（A）を押し下げて、カバーを開ける。

③ バッテリーパックのタブ（B）を引いてスロットから取り出す。

- 取り付けるには

① スロットの奥までしっかりとバッテリーパックを挿入する。

② カチッと音がするまでカバーを閉じる。
③ ラッチ（C）を左側にスライドして、カバーをロックする。

お願い

- パソコンを持ち運ぶ際にバッテリーパックが落ちないよう、ラッチが正しくロックされていることを確認してください。

Li-ion 20

不要になった充電式電池（バッテリーパック）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

使用済み充電式電池（バッテリーパック）の届け先
- 最寄りの充電式電池リサイクル協力店へ。
  詳しくは、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  ホームページ：http://www.jbrc.net/hp （2008 年 4 月現在）

電源設定をカスタマイズする

電源プランを選定して、操作環境に最も適した電源設定を選択できます。ユーザー固有の電源プランを作成することもできます。

電源プランの設定を変更する

1 **画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[その他の電源オプション]をクリックする。**

2 **変更したい電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。**

3 **設定を変更する。**
- [詳細な電源設定の変更]：より詳細な設定をすることができます。

4 **[変更の保存]をクリックする。**

ユーザー固有の電源プランを作成する

1 **画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[その他の電源オプション]をクリックする。**

2 **[電源プランの作成]をクリックし、プラン名の入力欄をクリックして、作成する電源プランの名前を入力する。**

3 **[次へ] をクリックする。**

4 **各項目を設定し、[作成]をクリックする。**
- 設定内容の変更、またはより詳細な設定をするには（上記の「電源プランの設定を変更する」）

電源プランを削除する

1 **画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[その他の電源オプション]をクリックする。**

2 **削除する電源プランとは異なる電源プランをクリックする。**

3 **削除したい電源プランの下に表示された[プラン設定の変更]をクリックする。**

4 **[このプランを削除]をクリックし、確認画面で[OK]をクリックする。**

次のカードを挿入することができます。
- エクスプレスカードスロット（A）：ExpressCard/34 または ExpressCard/54
- PC カードスロット（B）：PC カードタイプⅠ（3.3 mm）またはタイプⅡ（5.0 mm）

A
B

お知らせ

- 下記のカードは使えません。
  PCカードタイプⅢ（10.5 mm）、ZV カード、SRAM カード、FLASH ROM カード（ATA インターフェースタイプを除く）、その他の動作電圧 12V を必要とするカード
- ストレージタイプのCardBus PC カードを取り付けた状態で Windows を起動しないでください。エラーの原因になります。
- 工場出荷時には、両スロットにダミーカードが取り付けられています。ご使用前に、ダミーカードを取り出してください。（➔38ページ 手順*1*）
- スロットを使わないときには、スロットにダミーカードを取り付けてください。
- PCカードのダミーカードはPC カードスロットに、エクスプレスカードのダミーカードはエクスプレスカードスロットに取り付けてください。ダミーカードを間違って取り付けると、故障の原因になることがあります。

カードの取り付け／取り出し

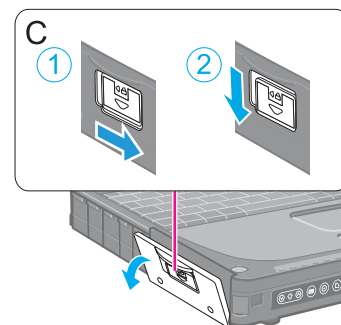
■ カードを取り付ける

準備

カードのドライバーが入ったメディア（CD-ROM など）に対応する機器を取り付けてください。

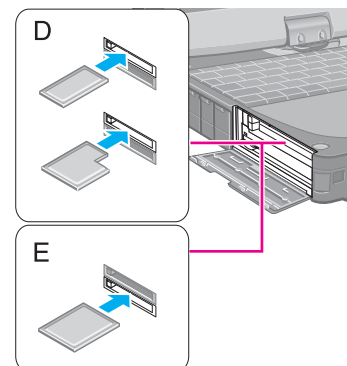
1 **カバーを開ける。**

① ラッチ（C）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。
② ラッチ（C）を押し下げて、カバーを開ける。

C
①
②

2 **カードのラベル面を上にして、エクスプレスカード（上スロット）（D）または PC カード（下スロット）（E）を、スロットの奥までしっかりと挿入する。**

- 詳しくはカードの取扱説明書をご覧ください。

D

E

お知らせ

<Smart Card スロット内蔵モデルのみ>

- 上スロット（D）は PC カード対応のスロット、下スロット（E）はスマートカード対応のスロットです。エクスプレスカードは使用できません。
  スマートカードを取り付ける／取り出すには：➔37ページ

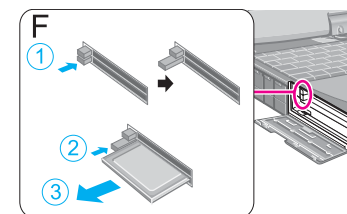
■ カードを取り出す

1 **カードの停止処理を行う。**

① 画面右下のタスクトレイのをクリックし、カードを選択して[OK]をクリックする。
- パソコンの電源を切ってからカードを取り出す場合、この手順は必要ありません。

2 **カバーを開けて（➔31ページ手順1）、カードを取り出す。**

① 取り出しボタン（F）を押す。取り出しボタンが飛び出します。
② 再度取り出しボタン（F）を押すと、スロットからカードが少し出てきます。
③ カードをまっすぐ引き抜く。

F ① ② ③

お知らせ

- カードの定格を確認して、動作電流がカードスロットの許容電流を超えないようにしてください。許容電流を超えると、故障の原因になります。
  許容電流：3.3 V：400 mA、5 V：400 mA

- カードによっては同時に使用できない場合があります。
- カードの取り付け／取り出しを繰り返していると、認識されなくなることがあります。その場合は、パソコンを再起動してください。
- スリープ・休止状態からリジュームした後で、パソコンが動作しなくなったときは、カードの出し入れを行ってください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。
- カード挿入時は、消費電力が増加します。カードを使用していないとき、特にバッテリー電力で操作しているときは、カードを取り外しておいてください。
- PC カードやエクスプレスカードを使って周辺機器（SCSI、IEEE1394など）を接続する場合は、下記の手順に従ってください。（手順は一例です。）
  ① 周辺機器をカードに接続する。
  ② 周辺機器の電源を入れる。
  ③ スロットの奥までしっかりとカードを挿入する。

SDメモリーカードについて

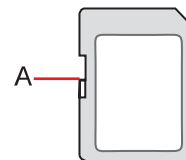
- 本機のメモリーカードスロットは、SD メモリーカードと SDHC メモリーカード（2GB を超える容量を持つ SD メモリーカード）に対応しています（セキュア対応（著作権保護機能付き））。
- miniSD メモリーカードおよび microSD メモリーカードを使う場合は、必ず専用のアダプターに装着し、アダプターごと抜き挿ししてください。スロット内にアダプターを残さないでください。
- SD メモリーカードは、インターネットなどのコンテンツ配信サービスに対応しています (セキュア対応（著作権保護機能付き））。
- 本機で SD メモリーカードをフォーマットする場合は、Windows の「フォーマット」ではなく、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いください。
  このソフトウェアは下記のホームページからダウンロードできます。
  http://panasonic.jp/support/global/cs/sd/download/sd_formatter.html
- 他の機器で SD メモリーカードを使う場合は、その機器でカードをフォーマットしてください。詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

取り扱いおよび保管上のお願い

- パソコンから SD メモリーカードを取り出した後は、ケースに入れて保管してください。
- 次のことを行わないでください。
  - 分解や改造
  - 強い衝撃を与える、曲げる、落とす
  - 端子部に指や金属で触れる
  - 貼られているラベルをはがしたり、新たにラベルやシールを貼る
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光のあたるところや車内など、温度が高くなるところ
  - ほこりの多いところや湿度の高いところ
  - 腐食性のガスなどが発生するところ

データの取り扱い上のご注意

- カードの書き込み禁止スイッチ（A）を「LOCK」側にしてください。データの録音（チェックアウト）、保存、編集などをするときには解除してください。
- 大切なデータは他のメディアにもバックアップしておくことをお勧めします。
- 廃棄するときは、個人データなどの流出を防ぐために、金槌などで物理的に破壊することをお勧めします。

A

SDメモリーカードの取り付け／取り出し

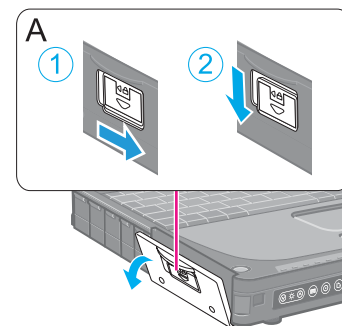
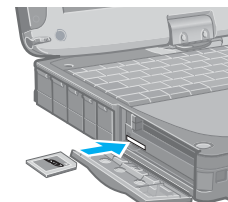
お願い

- Windowsのログオン画面またはデスクトップ画面が表示されるまで、SDメモリーカードの取り付け／取り出しは行わないでください。
- 次の場合は、カードを取り出したりパソコンの電源を切ったりしないでください。データが壊れることがあります。
  - スリープまたは休止状態のとき
  - SD メモリーカード状態表示ランプ[SD]が点灯または点滅しているとき
  - データの読み出し中または書き込み中
  - 書き込み操作の直後
    書き込み操作の直後は、パソコンがカードにアクセスを続けていることがあります。操作が完了する前にカードを取り出すと、データが壊れたり、カードに正常にアクセスできなくなったりするおそれがあります。
- お客さまが記録したデータの損失ならびにその他の直接、間接の障害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 無理にカードを引き抜かないでください。スロットが傷つく場合があります。
- カードは正しい向きに挿入してください。誤って挿入すると、カードとスロットが損傷する場合があります。
- スリープ・休止状態からリジュームした後、約 30 秒間は SD メモリーカードにアクセスしないでください。

■ カードを取り付ける

1 **カバーを開ける。**

① ラッチ（A）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。
② ラッチ（A）を押し下げて、カバーを開ける。

A ① ②

2 **カードのラベル面を上にして、角が欠けた方から挿入する。**

■ カードを取り出す

準備

- データを保存し、すべてのアプリケーションソフトを終了してください。
- カバーを開けて、SD メモリーカード状態表示ランプ（B）が消えていることを確認してください。

B

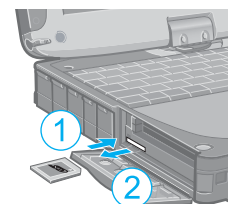
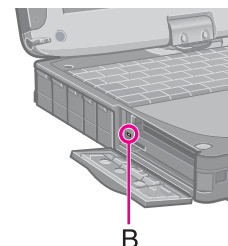
1 カードの停止処理を行う。

① 画面右下のタスクトレイのをクリックし、カードを選択して[OK]をクリックする。

- パソコンの電源を切ってからカードを取り出す場合、この手順は必要ありません。

2 カードを取り出す。

① カードを押す。
スロットからカードが出てきます。

② カードをまっすぐ引き抜く。

スマートカード

< スマートカードスロット内蔵モデルのみ >
スマートカードを使用するには、アプリケーションソフトが必要です。

次のカードを使用することができます。
- PC カードスロット（A）：PC カードタイプⅠ（3.3 mm）またはタイプⅡ（5.0 mm）
- スマートカードスロット（B）：スマートカード

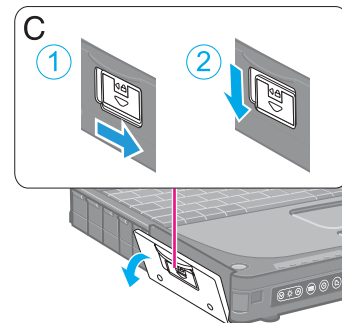
お願い

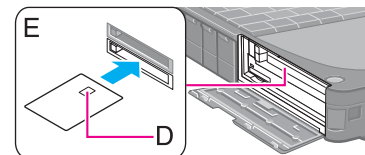
- スマートカードの取り扱いの際は、次のことを行わないでください。
  - 強い衝撃を与える、曲げる、落とす
  - 指や金属で接触部に触れる
  - 温度の高いところに長時間カードを放置する
  - 取り付けてすぐにカードを取り出す

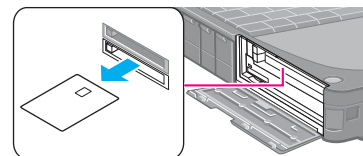
スマートカードの取り付け／取り出し

■ カードを取り付ける

1　カバーを開ける。

①ラッチ（C）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。
②ラッチ（C）を押し下げて、カバーを開ける。

2　接触部分（D）を前にして、下のスロット（E）に挿し込む。

- スロットの奥までしっかりと挿し込んでください。

■ カードを取り出す

1 カバーを開け（➔37ページ 手順1）、カードをまっすぐに引き出す。

RAM モジュール

下記の仕様に適合する RAM モジュールを使用してください。他のモジュールを使うと、正常に動作しないだけでなく、故障の原因になることがあります。

RAM モジュール仕様：
200 ピン、SO-DIMM、1.8 V、DDR2 SDRAM、PC2-4200
（推奨品については、当社の最新カタログやホームページでご確認ください。）

お願い

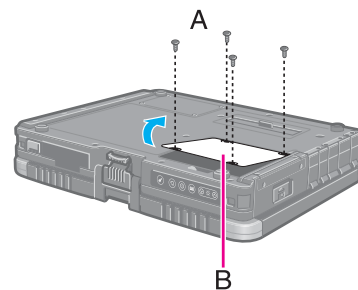
- RAMモジュールは、静電気の影響を非常に受けやすいため、人間の体内に蓄積された静電気により損傷する場合があります。RAMモジュールの取り付け／取り外しの際には、パソコン内部の部品や端子に触れないようにし、異物がスロットに入らないようにしてください。機器が破損したり、火災、感電の原因になります。

RAMモジュールの取り付け／取り外し

1 **パソコンの電源を切る。**
- スリープ機能や休止状態機能は使わないでください。

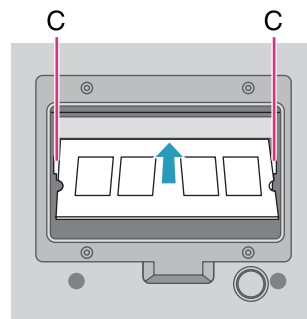
2 **ACアダプターを取り外し、バッテリーパックを取り出す。（➔28ページ）**

3 **パソコン底面のネジ（A）とカバー（B）を取り外す。**

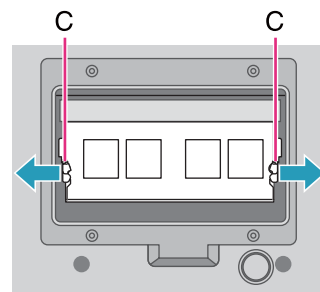
A
B

4 **RAMモジュールを取り付ける／取り外す。**

- 取り付けるには

① モジュールを少し傾け、スロットに挿入する。
② 左右のフック（C）でロックされるまでモジュールを倒す。

C C

- 取り外すには

① 左右のフック（C）をゆっくり開く。
モジュールが持ち上がります。
② モジュールをゆっくりとスロットから取り外す。

C C

5 **カバーとバッテリーパックを取り付ける。**

お願い

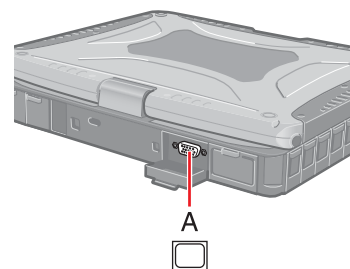
- ネジをしっかり締めて、カバーをきちんと固定してください。

お知らせ

- 挿入しにくい、または倒しにくい場合は、無理に力を加えず、モジュールの方向を再度確認してください。
- ネジ山をつぶさないよう、適切なドライバーを使用してください。
- RAM モジュールが正しく認識されている場合は、セットアップユーティリティの「情報」メニューに合計メモリーサイズが表示されます。(➔69ページ)
RAM モジュールが認識されていない場合は、パソコンの電源を切り、RAMモジュールを取り付け直してください。

外部ディスプレイ

画面の表示先を外部ディスプレイに切り替えることができます。
外部ディスプレイを外部ディスプレイコネクター（A）に接続してください。

A

お知らせ

- スリープ・休止状態からのリジューム後または再起動後の表示先は、スリープ・休止状態に入る前または再起動前と異なる場合があります。
- Windowsの起動後に表示先を切り替える場合、切り替えが完了するまでキーに触れないでください。
- Windows が起動するまで（セットアップユーティリティなど）は、同時表示にすることができません。 **Fn**+**F3**を押すと、外部ディスプレイまたは内部 LCD に切り替わります。
- ユーザーの簡易切り替え機能を使用してユーザーを切り替えると、表示先を**Fn**+**F3**で切り替えられなくなることがあります。その場合はすべてのユーザーをログオフし、パソコンを再起動してください。
- スリープ・休止状態のときに、外部ディスプレイを接続したり取り外したりしないでください。
- 接続するディスプレイによっては、表示の切り替えに時間がかかることがあります。
- 高解像度の外部ディスプレイを使用する場合、[Intel® Graphics Media Accelerator Driver for mobile]画面の[ディスプレイデバイス]で[ノートブック]（内部LCD）に切り替えると、画面の色や解像度、リフレッシュレートが変更されることがあります。
  画面の表示先の切り替えは、 **Fn**+**F3**を使うことをお勧めします。
- 外部ディスプレイのみを使用する場合は、内部LCDのみ、または同時表示をする場合とは別に、外部ディスプレイに適した色数、解像度、リフレッシュレートを設定してください。
  設定によっては、外部ディスプレイ画面が乱れたり、マウスカーソルが正しく表示されなかったりする場合があります。その場合は設定値を下げてください。
- 同時表示しているときは、DVD-Video、MPEGファイルなどの動画がスムーズに再生されない場合があります。
- 外部ディスプレイの取扱説明書をよくお読みください。
- プラグアンドプレイに対応していない外部ディスプレイを接続する場合は、下記メニューで適切なドライバーを選択するか、外部ディスプレイに付属のドライバーディスクを使用してください。
  （スタート）- [コントロールパネル] - [画面の解像度の調整] - [詳細設定] - [モニタ] - [プロパティ] - [ドライバ] - [ドライバの更新]

お願い

- 外部ディスプレイを取り外す前に、 Fn+F3を押して内部LCDに切り替えてください。切り替えをしないと、取り外す前と後で画質が異なる場合があります（解像度が正しくないなど）。その場合は、 Fn+F3を押して画質をリセットしてください。
- 次の操作を行うと、画面が乱れる場合があります。その場合は、パソコンを再起動してください。
  - 高解像度または高リフレッシュレートに設定した外部ディスプレイを取り外す
  - パソコン操作中に外部ディスプレイの接続や取り外しを行う

表示先を切り替える

1　Fn+F3を押す。

押すたびに、以下のように切り替わります。
内部 LCD → 同時表示 → 外部ディスプレイ

拡張デスクトップモードを使う

拡張デスクトップモードでは、内部 LCD と外部ディスプレイをひと続きの作業領域として使うことができます。内部 LCD と外部ディスプレイとの間で、ウィンドウのドラッグ移動などができます。

■ 拡張デスクトップモードへ切り替える

1　外部ディスプレイを接続する。

- [検出された新しいディスプレイ]画面が表示されます。この画面が表示されないときは、「拡張デスクトップモードの設定を変更する」（➔43ページ）の手順を実行してください。

2　[各ディスプレイにデスクトップの異なる部分を表示する(拡張)]をクリックする。

3　[右]または[左]をクリックし、[OK]をクリックする。

■ 拡張デスクトップモードの設定を変更する

1 **デスクトップを右クリックし、[グラフィック プロパティ]をクリックする。**

2 **[拡張デスクトップ]をクリックし、[プライマリ デバイス]と[セカンダリ デバイス]を設定する。**

3 **[ディスプレイ設定]をクリックして画面の色や解像度などを設定する。**

4 **[OK]をクリックする。**

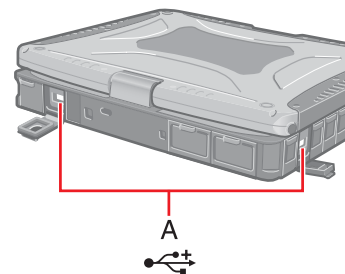
お知らせ

- アプリケーションソフトによっては、拡張デスクトップモードを使用できない場合があります。
- 最大化ボタンをクリックすると、どちらか一方のディスプレイに最大表示されます。最大化したウィンドウをもう一方のディスプレイに移動することはできません。
- Fn+F3を押してディスプレイを切り替えることはできません。
- 拡張デスクトップモード使用時は画面回転機能を使わないでください。
- 左（プライマリ デバイス）と右（セカンダリ デバイス）を入れ替えるときは、ディスプレイの設定をいったんノートブックのみに戻してから、次の手順を行ってください。
  ① デスクトップを右クリックし、[グラフィック オプション]をクリックする。
  ② [出力先] - [ノートブック]をクリックする。
  ③ デスクトップを右クリックし、[グラフィック オプション]をクリックする。
  ④ [出力先] - [拡張デスクトップ]をクリックし、[PC モニタ + ノートブック]（外部ディスプレイがプライマリーデバイスに設定される）か、または[ノートブック + PC モニタ]（内部 LCD がプライマリーデバイスに設定される）をクリックする。
- 拡張デスクトップモードへ切り替えるときは、必ず[Intel® Graphics Media Accelerator Driver for mobile]画面か、[検出された新しいディスプレイ]画面を使用してください。これ以外の方法（画面の設定など）を使用すると、画面が正常に表示されないことがあります。
- Fnキーの組み合わせを押したときに表示されるポップアップアイコンは、プライマリーデバイス側に表示されます。
- タッチパネルを使用しているときは、内部 LCD をプライマリーデバイスとして設定してください。内部 LCD に触れると、プライマリーデバイス上でカーソルが動きます。

USB機器の取り付け／取り外し

■ USB機器を取り付ける

1 **カバーを開け、USB 機器を USB ポート（A）に接続する。**
詳しくはUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

A

■ USB機器を取り外す

1 **USB機器の停止処理を行う。**

① 画面右下のタスクトレイのをクリックし、USB 機器を選択して[OK]をクリックする。

● 次の場合は、この手順は必要ありません。
- パソコンの電源を切ってから機器を取り外すとき
- が表示されていないとき
- 手順 ① で、取り外す機器が一覧にないとき

2 **USB機器を取り外す。**

お知らせ

- USB機器を使うには、ドライバーのインストールが必要な場合があります。詳しくはUSB機器の取扱説明書をご覧ください。
- USB機器を別のUSBポートに接続し直すときは、ドライバーのインストールが再度必要になる場合があります。
- USB キーボードやマウスを接続した状態でパソコンがスリープまたは休止状態に入ったとき、USB キーボードのキーか、またはマウスに触れると、パソコンはリジュームを実行します。
- USB 機器が接続されていると、スリープ機能や休止状態機能が正常に働かない場合があります。パソコンが正常に起動しない場合は、USB機器を取り外し、パソコンを再起動してください。
- パソコンのスイッチを入れたまま USB 機器を抜き挿しすると、がデバイスマネージャに表示され、機器が正しく認識されないことがあります。その場合は、機器を再度抜き挿しするか、パソコンを再起動してください。
- USB機器が接続されていると、電力消費量が増加します。特にバッテリー電力で操作しているときは、使用していないUSB機器を取り外しておいてください。

IEEE 1394 機器

デジタルビデオカメラなどの IEEE1394 対応機器を接続することができます。

お知らせ

- IEEE1394機器を使うには、ドライバーのインストールが必要な場合があります。詳しくは IEEE1394 機器の取扱説明書をご覧ください。

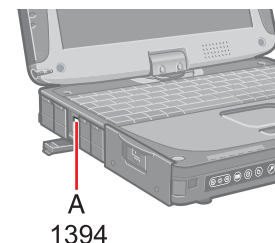
■ IEEE1394 機器を接続する

準備

ドライバーが入ったメディア（CD-ROM など）に対応する機器を取り付けてください。

1 **パソコンとIEEE1394機器の電源を入れる。**

2 **カバーを開け、IEEE1394 コネクター（A）にIEEE1394 機器を接続する。**
詳しくはIEEE1394機器の取扱説明書をご覧ください。

A
1394

■ IEEE1394 機器を取り外す

お願い

- 必ずパソコンの電源を切ってからIEEE1394機器の電源を切ってください。

1 **パソコンの電源を切り、IEEE1394コネクターからケーブルを取り外す。**

2 **IEEE1394機器の電源を切り、ケーブルを取り外す。**

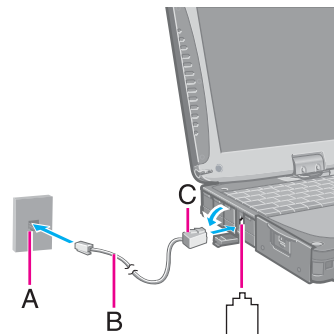
< モデム内蔵モデルのみ >

内蔵モデムと電話コンセントを接続する

1 **カバーを開け、モジュラーケーブル（付属）（B）を使って、電話コンセント（A）に接続する。**

- 突起部（C）の形がコネクターに合うようにし、カチッと音がするまで挿入してください。

2 **（スタート）- [コントロールパネル] - [インターネットへの接続] - [ダイヤルアップ]をクリックし、必要に応じて設定を変える。**

A
B
C

お知らせ

- 通信中は、スリープ機能や休止状態機能を使わないでください。
- ケーブルを取り外すときは、突起部（C）を押さえたまま引き抜いてください。
- モデムは一般電話回線で使用してください。
- 本機のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

モデムリングリジューム機能

モデムに接続した回線に電話がかかると、パソコンがスリープ状態からリジュームします。

1 **(スタート) - [すべてのプログラム] - [Windows FAX とスキャン]をクリックする。**

2 **[ツール] - [FAX の設定]をクリックする。**
- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。
- ご使用のモデムがデバイス名に表示されているか確認してください。表示されていなければ、[FAX デバイスの選択] をクリックして正しいモデムを選択してください。

3 **[デバイスで FAX 呼び出しを受信できるようにする]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。**

4 **(スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックする。**
- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

5 **[モデム]をダブルクリックし、内蔵モデムをダブルクリックする。**

6 **[電源の管理]をクリックし、[このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。**

■ パソコンがスリープ状態に戻る時間を設定する

通信が完了していなくても、設定時間が経過するとパソコンはスリープ状態に入ります。[なし]に設定しておくと、通信の途中でスリープ状態に入ることはありませんが、リジュームした後スリープ状態に入りません。

① 画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[その他の電源オプション] - [コンピュータがスリープ状態になる時間を変更]をクリックする。

② 通信時間を予測して、スリープ状態に戻る時間を設定する。

お知らせ

- パソコンの電源がオフのとき、または休止状態のときは、この機能は使えません。
- AC アダプターを接続してください。
- スリープ状態からリジュームした後も、画面は暗いままです。キーボードやフラットパッド、タッチパネル、タブレットボタンに触れると、元の画面が表示されます。
- 内蔵モデムに接続されている電話以外ではリジュームできません。（PCカードモデムなどは使えません。）

LAN を接続する

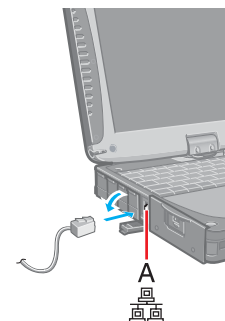
1 **パソコンの電源を切る。**

- スリープ機能や休止状態機能は使わないでください。

2 **カバーを開け、ケーブルを接続する。**

LAN ケーブルを使って、LAN コネクター（A）とネットワークシステム（サーバーやハブなど）を接続します。

3 **パソコンの電源を入れる。**

A

Power On by LAN機能／有線 LAN Wake Up 機能

お知らせ

- セットアップユーティリティでパスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定している場合でも、本機能による起動やリジュームの際にパスワードの入力は必要ありません。
- AC アダプターを接続してください。
- 次の場合はPower On by LAN 機能は働きません。
  - 電源スイッチを4秒以上スライドさせてパソコンの電源を切ったとき（フリーズした後など）
  - ACアダプターとバッテリーパックをいったん取り外し、再度パソコンに取り付けたとき
- リジュームしても画面は暗いままです。キーボードやフラットパッド、タッチパネル、タブレットボタンに触れると、元の画面が表示されます。

Power On by LAN機能を有効にする

内蔵 LAN にネットワークサーバーからアクセスすると、自動的にパソコンの電源が入ります。

1. **セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「Power On by LAN機能」を「許可」に設定する。(➔71ページ)**
2. **「[重要] お知らせ」画面で、Enterを押す。**
3. **F10を押し、「はい」を選んでEnterを押す。**
4. **管理者のユーザーアカウントでログオンする。**
5. **(スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックし、[ネットワーク アダプタ] - [Marvell Yukon 88E8055 PCI-E Gigabit Ethernet Controller]をダブルクリックし、[詳細設定]をクリックする。**
6. **[プロパティ]で[シャットダウンからの起動]をクリックし、[値]で[オン]を選んで[OK]をクリックする。**

お知らせ

- ネットワーク上の意図しないパソコンからアクセスがあると、パソコンが起動する場合があります。意図しないパソコンからのアクセスによる起動を防ぐには、次の設定を行ってください。
  ① (スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックし、[ネットワーク アダプタ] - [Marvell Yukon 88E8055 PCI-E Gigabit Ethernet Controller]をダブルクリックし、[詳細設定]をクリックする。
  ② [プロパティ]で[ウェイク アップ機能]をクリックし、[値]で[マジック パケット]を選んで[OK]をクリックする。

有線 LAN Wake Up 機能を有効／無効にする

有線 LAN Wake Up 機能が有効なときに、内蔵 LAN にネットワークサーバーからアクセスすると、パソコンがスリープ状態や休止状態から自動的にリジュームします。（工場出荷時には無効に設定されています。）
有線 LAN Wake Up 機能は、次の手順で有効／無効の切り替えができます。

1 **（スタート）- [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックする。**
- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

2 **[ネットワーク アダプタ] - [Marvell Yukon 88E8055 PCI-E Gigabit Ethernet Controller]をダブルクリックする。**

3 **[電源の管理]をクリックし、[電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]と[このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付け（機能を有効にする場合）／外し（機能を無効にする場合）、[OK]をクリックする。**

お知らせ

- ネットワーク上の意図しないパソコンからアクセスがあると、パソコンがリジュームする場合があります。
  意図しないパソコンからのアクセスによるリジュームを防ぐには、次の設定を行ってください。
  ① （スタート）- [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックする。
    - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

  ② [ネットワーク アダプタ] - [Marvell Yukon 88E8055 PCI-E Gigabit Ethernet Controller]をダブルクリックする。
  ③ [電源の管理]をクリックし、[管理ステーションでのみ、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付けて[OK]をクリックする。

無線通信をオン／オフする

< 無線 LAN、Bluetooth 内蔵モデルのみ >

無線通信のオン／オフを切り替えるには、次の方法があります。

- 無線スイッチで切り替える（下記）
- 無線切り替えユーティリティを使う（➔53 ページ）
- [ネットワークと共有センター]の設定を変更する（➔55ページ）
- セットアップユーティリティの「詳細」メニューの設定を変更する（➔72 ページ）

お知らせ

- 無線LANについて詳しくは：➔55ページ
- Bluetooth について詳しくは：➔62ページ
- 無線LANのオン／オフは、LANケーブルの接続状態によって、自動的に切り替えることもできます。(➔64ページ)

無線スイッチで切り替える

1 **カバーを開ける。**

① ラッチ（A）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。

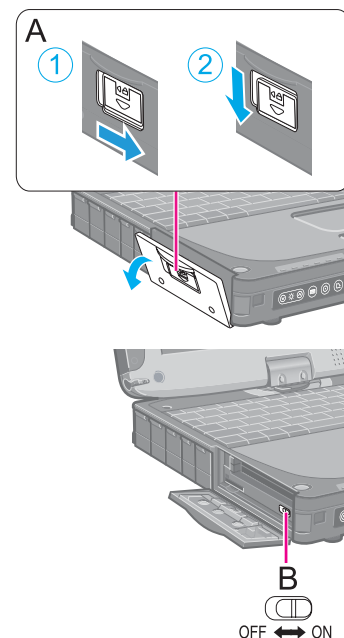
② ラッチ（A）を押し下げて、カバーを開ける。

■ すべての無線通信を無効にするには

2 **無線スイッチ（B）をOFF側にスライドする。**

■ 無線通信を有効にするには

2 **無線スイッチ（B）をON側にスライドする。**

- 工場出荷時は、無線スイッチを ON にすると、すべての無線機器が有効になるように設定されています。

■ 無線通信の状態を確認するには

1 **画面右下のタスクトレイの「無線切り替えユーティリティアイコン」（ または ）にカーソルを合わせる。**

ツールのヒントが表示されます。

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティをアンインストールするときは、あらかじめ無線スイッチをON側にスライドさせておいてください。
- 無線スイッチの入／切を連続して繰り返し行わないでください。
- 無線スイッチの入／切の直後には、再起動やログオフをしたり、スリープ・休止状態に入ったりしないでください。
- Windowsの起動処理中／シャットダウン中は、無線スイッチの入／切をしないでください。
- 無線通信を使うには
  - セットアップユーティリティの「詳細」メニューで無線機器（「無線LAN」／「Bluetooth」）を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。（➔72ページ）
  - 「ネットセレクター 2」で無線LANを選択してください。（➔64ページ）
- セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「無線スイッチ」を「無効」に設定する（➔72ページ）と、画面右下のタスクトレイに無線切り替えユーティリティアイコンが表示されなくなります。すべての無線機器（無線LAN／Bluetooth）は、無線スイッチの状態とは関係なく、使用できる状態になります。
- 無線スイッチを切にしてから無線LAN通信がオフになるまで、時間がかかることがあります。
- [デバイス マネージャ]でIEEE802.11a設定を変更すると（➔58ページ）、それにともない状態表示も変わります。

無線切り替えユーティリティを使う

無線切り替えユーティリティを使って、無線スイッチの設定を変更することができます。また、画面右下のタスクトレイのアイコンを使って無線機器を有効／無効にすることもできます。工場出荷時には、すべての無線機器がオンに設定されています。

■ 無線切り替えユーティリティアイコン

画面右下のタスクトレイの無線切り替えユーティリティアイコンは、無線機器の状態を表します。

- ：無線機器がオンのとき
- ：無線機器がオフのとき
- ：無線機器がセットアップユーティリティで無効になっているとき

■ 無線機器を個別にオン／オフする

1 画面右下のタスクトレイの「無線切り替えユーティリティアイコン」（ または ）をクリックし、ポップアップメニューを表示する。

2 メニューを使って、無線機器のオン／オフを切り替える。

■ 無線スイッチの設定を変更する

工場出荷時の設定では、無線スイッチを切にすると、切にする直前の各無線機器のオン／オフの状態が保存されます。再び無線スイッチを入にすると、各無線機器は切にする直前のオン／オフの状態に戻ります。この設定は変更することができます。

[毎回ダイアログを表示してオンするデバイスを選択する]
無線スイッチをONにしたとき「無線切り替えユーティリティ」画面が表示されます。その画面で無線機器ごとにオン／オフを設定し、[OK]をクリックしてください。（オン／オフの設定は、[OK]をクリックするまで有効にはなりません。）

[以下のデバイスをオンする]
無線スイッチをONにしたときにオンにしたい無線機器を選択してください。

[無線スイッチをオフした時のデバイスの状態に戻す]（工場出荷時の設定）
無線スイッチをONにすると、最後に無線スイッチをOFFにしたときのオン／オフ設定が選択されます。

1 画面右下のタスクトレイの「無線切り替えユーティリティアイコン」（ または ）をクリックし、[設定]をクリックする。

2 無線スイッチに割り当てたい設定を選択する。

3 [OK]をクリックする。

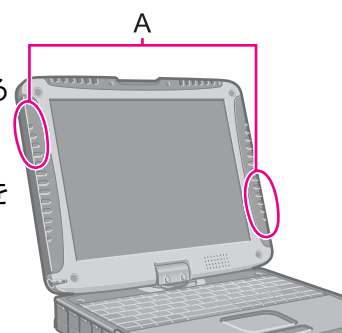
< 無線 LAN 内蔵モデルのみ >

お願い

- **無線LANを通じてパソコンに無断アクセスされないようにするには**
  無線LANをご使用になる前に、暗号化などのセキュリティ設定を行うことをお勧めします。設定をしないと、共有ファイルなどハードディスク上のデータに無断でアクセスされる危険性があります。

お知らせ

- 通信は無線LANアンテナ（A）を通じて行われます。手や体などでアンテナ部をふさがないでください。
- ユーザーの簡易切り替え機能を使ってユーザーを切り替えた後、無線LANが使えなくなる場合があります。
- 電子レンジの近くでは通信速度が遅くなります。
- 無線LANを使うには、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「無線LAN」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。（➔72ページ）
- タブレットモードで画面回転ツールを使っているとき、無線通信が一時的に妨げられる場合があります。

A

無線 LAN 機能を使う

無線 LAN をお使いになる前に、無線 LAN 通信をオンにしてください。

無線 LAN 通信をオン／オフする

1 **無線スイッチをスライドし、無線 LAN をオン／オフする。(➔52ページ)**

- 無線 LAN をオンにするとき
  無線スイッチで無線 LAN をオンにできなければ、無線切り替えユーティリティの設定（➔53ページ）を確認してください。無線切り替えユーティリティで無線 LAN をオンにできなければ、次の手順を実行してください。

① 画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[ネットワークと共有センター]をクリックする。

② [ネットワーク接続の管理]をクリックする。

③ [ワイヤレス ネットワーク接続]を右クリックし、[有効にする]をクリックする。
- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。
- [ワイヤレス ネットワーク接続]がすでに有効に設定されているときは、[無効にする]が表示されます。

④ 無線切り替えユーティリティで無線 LAN をオンにする。(➔53ページ)

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティを使わずに、次の手順を実行して無線 LAN をオンにすることもできます。
  ① (スタート) - [コントロールパネル] - [共通で使うモビリティ設定の調整]をクリックする。
  ② [ワイヤレス ネットワーク]で[ワイヤレスをオンにする]をクリックする。
  - ワイヤレスネットワークがすでに有効に設定されているときは、[ワイヤレスをオフにする]が表示されます。
  - 無線スイッチがオフになっているときは、[ワイヤレスをオンにする]は選択できません。

無線 LAN のアクセスポイントを設定する

準備

無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書に従って、アクセスポイントがパソコンを認識できるように設定してください。

1 **無線 LAN をオンにする。**

2 **画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[ネットワークに接続]をクリックする。**
ご使用のパソコンが別のネットワークに接続されているときは、[接続または切断]をクリックしてください。
[ネットワークに接続]画面が表示されます。

3 **をクリックしてアクセスポイントを選択し、[接続]をクリックする。**

4 **設定したアクセスポイントに対応するキーを入力し、パソコンを認識させて[接続]をクリックする。**
パソコンが無線 LAN のアクセスポイントへ接続するまでお待ちください。
[正しく接続しました]が表示されたら、無線 LAN の設定は完了です。
- [このネットワークを保存します]にチェックマークを付けると、パスワード、設定などを保存できます。
- [この接続を自動的に開始します]にチェックマークを付けると、パソコンが自動的にアクセスポイントを検出してインターネットへ接続します。

5 **[閉じる]をクリックする。**

お知らせ

- 設定内容はネットワーク環境によって異なります。詳しくはシステム管理者またはネットワーク担当者にお問い合わせください。
- ステルスモードでアクセスポイントへ接続するときは、次の手順を実行してください。
  ① 画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[ネットワークと共有センター]- [ワイヤレス ネットワークの管理]をクリックする。
  ② [追加]をクリックし、[ネットワーク プロファイルを手動で作成します]を選択する。
  ③ [ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]にチェックマークを付け、アクセスポイントを設定する。

  詳しくはシステム管理者またはネットワーク担当者にお問い合わせください。

無線 LAN の規格 IEEE802.11a（802.11a）の設定

無線 LAN の規格 IEEE802.11a（5.2 GHz/5.3 GHz 帯無線 LAN/J52、W52、W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線 LAN の電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめ IEEE802.11a を無効に設定しておいてください。
5.47GHz ～ 5.725GHz の周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていませんが（2007 年 1 月以降）、本機に搭載されている無線 LAN は W52/W53 でも送信を行うため、W56 も屋外では使用できません。

1 **画面右下のタスクトレイのまたはをクリックする。**

2 **[802.11a 有効]または[802.11a 無効]をクリックする。**
- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティアイコン（または）は、IEEE802.11a の設定ではなく、無線 LAN、Bluetooth のオン／オフ状態を示しています。
- パソコンが IEEE802.11b/g アクセスポイントに接続されているときに、IEEE802.11a を有効または無効にすると、一時的に通信が途切れることがあります。

- [デバイス マネージャ]でも IEEE802.11a の設定を変更することができます。
  ① (スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックする。
  - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

  ② [ネットワーク アダプタ]をダブルクリックし、[Intel(R) Wireless WiFi Link 4965AG]をダブルクリックする。
  ③ [詳細設定]をクリックし、[プロパティ]の[ワイヤレス モード]を選択する。
  ④ [値]で設定値（[5. 802.11a/g]など）を選択する。
  ⑤ [OK]をクリックする。

  無線切り替えユーティリティのポップアップメニューでIEEE 802.11a を有効または無効にすると、[デバイス マネージャ]の設定により下記のように切り替わります。

デバイスマネージャの設定	無線切り替えユーティリティの設定	
	IEEE802.11a が有効のとき	IEEE802.11a が無効のとき
[6. 802.11a/b/g] [4. 802.11b/g]	a+b+g が有効	b+g が有効
[3. 802.11g] [5. 802.11a/g]	a+g が有効	g が有効
[1. 802.11a] [2. 802.11b]	a が有効	b が有効

FREESPOTで使う

FREESPOT とは、無線 LAN でインターネットにアクセスできる環境を開放し、誰でもメールやインターネットを利用できるエリア・サービスのことです。
FREESPOT を利用するためには、無線 LAN の設定を FREESPOT 用に設定する必要があります。本機では、FREESPOT を簡単に利用できるようあらかじめ FREESPOT 用の設定が登録されています。
FREESPOT の設定場所や設定方法については、http://www.freespot.com/ をご覧ください。

お願い

- FREESPOTの設定場所に移動し、電波を受信できる環境で設定してください。
- 屋外でFREESPOTを利用する場合は、IEEE802.11aを無効に設定してください。（➔57ページ）IEEE802.11a（5.2GHz／5.3GHz帯無線LAN／J52、W52、W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線LANの電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめIEEE802.11aを無効に設定しておいてください。
  5.47GHz～5.725GHzの周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていませんが（2007年1月以降）、本機に搭載されている無線LANはW52/W53でも送信を行うため、W56も屋外では使用できません。

1 FREESPOTの設定を選択する。

① 画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」(または ）を右クリックして、[ネットワークに接続]をクリックする。
② [FREESPOT]をクリックする。
③ [接続]をクリックする。

お知らせ

- [FREESPOT]をクリックすると、自動的にWindowsファイアウォールが有効になります。

無線LAN Wake Up機能を使う

無線LAN Wake Up機能を有効／無効にする

無線 LAN 経由でネットワークサーバーからアクセスすると、パソコンがスリープや休止状態から自動的にリジュームします。（工場出荷時には、無効に設定されています。）

1 **（スタート）- [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックする。**
- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

2 **[ネットワーク アダプタ] - [Intel(R) Wireless WiFi Link 4965AG]をダブルクリックし、[電源の管理]をクリックする。**

3 **[電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]と[このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付け（機能を有効にする場合）／外し（機能を無効にする場合）、[OK]をクリックする。**

お願い

- 無線LAN Wake Up機能が有効に設定されていても、無線障害やパソコンが無線LANアクセスポイントの通信範囲外に移動したことなどが原因で、短時間でも無線接続が切断されると、無線LAN Wake Up機能は無効に切り替わります。
- 無線LAN Wake Up機能は、無線スイッチを切にすると（➔52ページ）、無効に切り替わります。
- 無線LAN Wake Up機能が有効に設定されていると、スリープ・休止状態のときに、無線LAN／Bluetooth状態表示ランプが点灯します。これは無線LANが使用できることを表しており、必ずしも無線LANが通信状態というわけではありません。

お知らせ

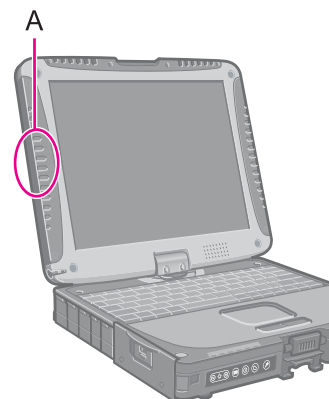
- ネットワーク上の意図しないパソコンからアクセスがあると、パソコンが起動する場合があります。意図しないパソコンからのアクセスによる起動を防ぐには、次の設定を行ってください。
  ① (スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックする。
    - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。
  ② [ネットワーク アダプタ] - [Intel(R) Wireless WiFi Link 4965AG]をダブルクリックし、[電源の管理]をクリックする。
  ③ [管理ステーションでのみ、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。
- 無線スイッチが入で、無線LAN Wake Up機能が有効に設定されていると、スリープまたは休止状態でも電力は消費されます。
- ad hocモードでは、無線LAN Wake Up機能は働きません。

Bluetooth機能

<Bluetooth 内蔵モデルのみ >
ケーブルを接続しないで、インターネットや他の Bluetooth 機器にアクセスすることができます。

お知らせ

- 通信はBluetoothアンテナ（A）を通じて行われます。手や体などでアンテナ部をふさがないでください。
- 電子レンジの近くでは通信速度が遅くなります。
- Bluetoothを使うには、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「Bluetooth」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。（➔72ページ）

A

■ Bluetoothをオン／オフする

➔52 ページ「無線通信をオン／オフする」

■ Bluetoothの通信状態を確認する

➔53 ページ「無線切り替えユーティリティアイコン」

■ オンラインマニュアルにアクセスする

1 （スタート）- [すべてのプログラム] - [Bluetooth] - [ユーザーズ ガイド]をクリックする。

ネットセレクター機能

自宅や会社、出張先など、いろいろな場所でネットワークに接続する場合、本機にインストールされているネットセレクター 2 が便利です。

■ ネットセレクター 2はこんなときに使う

● ネットワークの接続方法を頻繁に切り替える
例えば、自宅では ADSL、会社では LAN、出張先では別の LAN を使っている場合でも、ネットワークの設定（ネットワークプリンターを含む）を簡単に切り替えられます。

● プロバイダーやアクセスポイントなどの接続先を頻繁に切り替える
例えば、プロバイダーは 1 つだが、出張が多くてその都度アクセスポイントを選択する場合でも、簡単にアクセスポイントの選択ができます。

■ ネットセレクター 2でできること

ダイヤルアップ	● ダイヤルアップ登録したインターネット接続設定などがネットセレクター 2 の画面から使えます。
ネットワーク	● 会社などで使われているネットワークの設定を登録することができます。 ● 現在使用中の設定内容をそのまま登録することができます。 ● 通常使うプリンターに設定されているプリンターも、そのまま登録することができます。 ● ネットセレクター 2 の画面からネットワークの設定や登録もできます。
接続方法	● LAN、無線 LAN*1、LAN ＋無線 LAN*1 の 3 種類から選ぶことができます。

*1　無線 LAN 内蔵モデルのみ

ネットワークへの接続方法や接続先の切り替え

あらかじめ、モデム、LAN または無線 LAN[*2] など、ネットワークに接続できる設定にしておいてください。
各々のネットワークに接続するだけで、自動的に各々のネットワーク向けの設定に切り替わります。自動で認識できない場合は、以下のように手動で切り替えてください。

■ 手動で切り替える場合

1 **画面右下のタスクトレイの　（ネットセレクター 2）を右クリックする。**

2 **[選択]をクリックし、接続したい登録済みのネットワーク名または作成した設定データをクリックする。**
選択したネットワークの登録内容（IPアドレスや使用するプリンターなど）に切り替わります。
また、次の方法でもネットワークの設定を切り替えることができます。

① 画面右下のタスクトレイの　（ネットセレクター 2）をダブルクリックする。

②「ネットセレクター 2（設定）」画面のネットワーク一覧に表示されている項目から接続したいネットワーク名を選択し、[選択]をクリックする。

③ [閉じる]をクリックする。

*2　無線 LAN 内蔵モデルのみ

お知らせ

- 全機能を利用できるのは、Internet Explorer 7.0、Windows メール 6.0に限ります。
- Internet ExplorerやWindows メールでダイヤルアップ接続の既定値を変更した場合は、その設定が有効になります。
- ネットセレクター 2のウィンドウサイズを変更することはできません。
- Windows メールの[ツール] - [アカウント] - [マイクロソフト コミュニティ（既定）] - [プロパティ]をクリックし、[接続]の[このアカウントには次の接続を使用する]にチェックマークを付けている場合は、その接続が有効になります。
- モデムによるダイヤルアップの場合、Windowsで新しい接続を追加すれば、ネットセレクター 2で接続先を切り替えることができます。
- ネットセレクター 2に登録される設定内容は以下のとおりです。
  - ネットワーク名
  - IPアドレス
  - DNSアドレス

- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定（自動構成、プロキシサーバー設定）
- 通常使うプリンターの設定

● ネットワーク設定には、ネットワークに関する高度な知識が必要です。Windowsのネットワークに関する用語や意味を十分理解したうえで本機能を使用してください。

ハードディスクドライブの取り付け／取り外し

ハードディスク内の重要なデータの流出を防ぐために、ハードディスクドライブを取り外すことができます。

お願い

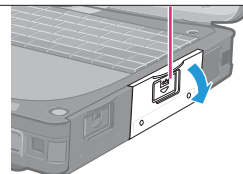
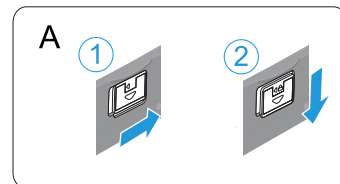
- 重要なデータは、ハードディスクドライブを取り外す前に必ずバックアップを取っておいてください。
- 修理その他の目的で、別のパソコン上でハードディスクのデータを読み込む必要がある場合は、ハードディスクドライブを取り外す前に、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「ハードディスク保護」を「無効」に設定してください。（➔73ページ）
- ハードディスクドライブは衝撃に非常に弱いため、取り付け／取り外しを行う際には十分に注意してください。また、静電気によって内部の部品が故障する可能性があります。

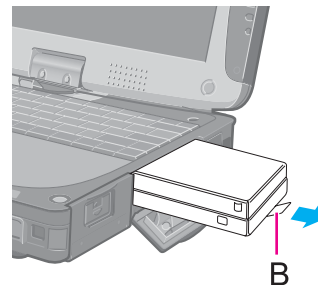
1 **パソコンの電源を切り、ACアダプターを取り外す。**
- スリープ機能や休止状態機能は使わないでください。

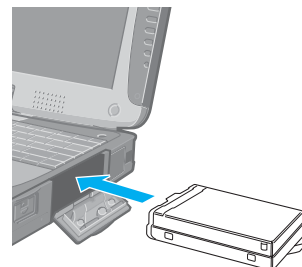
2 **バッテリーパックを取り外す（➔28ページ）。**

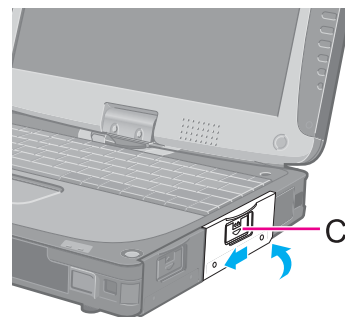
3 **ハードディスクドライブを取り付ける／取り外す。**
- 取り外すには

① ラッチ（A）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。
② ラッチ（A）を押し下げて、カバーを開ける。

A ① ②

③ ハードディスクドライブのタブ（B）を引いて、スロットから取り出す。

B

- 取り付けるには

① スロットの奥までしっかりとハードディスクドライブを挿入する。

② カチッと音がするまでカバーを閉じ、ラッチ（C）をスライドしてカバーをロックする。

C

4 バッテリーパックを取り付ける（➔28ページ）。

お願い

- パソコンを持ち運ぶ際にハードディスクドライブが落ちないよう、ラッチが正しくロックされていることを確認してください。

お知らせ

- ハードディスクドライブを取り外す前に、データを消去することができます。(⇒ 『取扱説明書』「ハードディスクの内容をすべて消去する」)
- セットアップユーティリティの「情報」メニューで、ハードディスクが認識されているかどうか確認できます（➔69ページ）。ハードディスクが認識されていない場合は、パソコンの電源を切って、再度取り付けてください。

パソコンの動作環境の設定（パスワード設定、起動ドライブの選択など）をすることができます。

セットアップユーティリティを起動する

1 **パソコンの電源を入れる、または再起動する。**

2 **パソコンの起動後すぐ、[Panasonic]起動画面が表示されている間にF2を数回押す。**

[パスワードを入力してください]が表示されたら、パスワードを入力してください。

スーパーバイザーパスワードで、セットアップユーティリティを起動したとき

- セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

ユーザーパスワードで、セットアップユーティリティを起動したとき

- 次のようになります。
  - 「詳細」および「起動」メニューでは、項目の設定を変更することはできません。
  - 「セキュリティ」メニューでは、「ユーザーパスワード保護」が「保護しない」に設定されている場合に、ユーザーパスワードのみ変更できます。ユーザーパスワードを削除することはできません。
  - 「終了」メニューでは、「デフォルト設定」の設定はできません。
  - F9 （デフォルトの設定）は使えません。

情報メニュー

下線は工場出荷時の設定です。

項目	設定
言語（Language）	English <u>日本語（Japanese）</u>
機種品番 製造番号 CPU タイプ CPU スピード BIOS 電源コントローラー メモリーサイズ 使用可能メモリー ハードディスク 累積使用時間	パソコン情報（変更できません）

メインメニュー

下線は工場出荷時の設定です。

項目	設定
システム時間 • 24 時間制です。 • **Tab** でカーソルの移動ができます。	[xx:xx:xx]
システム日付 • 年／月／日 • **Tab** でカーソルの移動ができます。	[xxxx/xx/xx]
フラットパッド	無効 <u>有効</u>
タッチパネルモード	タッチパネル タブレット <u>自動</u>
現在の状態 • [タッチパネルモード]が[自動]に設定されているときのみ表示されます。	タッチパネルモードの設定状態に応じて、「タッチパネル」または「タブレット」のどちらかが表示されます。
Fn/ 左 Ctrl キー • 内部キーボードの **Fn** と **Ctrl**（左側）の機能を入れ換えるかどうかを設定します。	<u>標準</u> 入れ換え
ディスプレイ • Windows が起動するまでの表示先を設定します。外部ディスプレイを接続していないときは、「外部ディスプレイ」を選んでいても、すべての情報が内部 LCD に表示されます。	<u>外部ディスプレイ</u> 内部LCD
環境	常温 高温 <u>自動</u>
現在の状態 • 「環境」が「自動」に設定されているときのみ表示されます。	バッテリーの状態によって、「常温」または「高温」のどちらかが表示されます。

詳細メニュー

下線は工場出荷時の設定です。

項目	設定
Core Multi-Processing	無効 有効
Intel（R）Virtualization Technology	無効 有効
▶ シリアルポート設定 • シリアルポート A ／ B を設定します。	サブメニュー表示 *1
モデム • モデム内蔵モデルのみ	無効 有効
LAN	無効 有効
Power On by LAN 機能 •「LAN」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。 • [Power On by LAN 機能] を使うには、[デバイス マネージャ] でも設定が必要です。（➔49 ページ）	禁止 許可

*1 「シリアルポート設定」を選択したときに表示されるサブメニュー

項目	設定
シリアルポートA	無効 有効 自動
I/O IRQ •「シリアルポートA」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。	3F8/IRQ4 2F8/IRQ3 3E8/IRQ11 2E8/IRQ10
シリアルポートB	無効 有効 自動
I/O IRQ •「シリアルポートB」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。	3F8/IRQ4 2F8/IRQ3 3E8/IRQ11 2E8/IRQ10

下線は工場出荷時の設定です。

無線 LAN • 無線 LAN 内蔵モデルのみ	無効 有効
Bluetooth • Bluetooth 内蔵モデルのみ	無効 有効
無線スイッチ	無効 有効
PC カードスロット	無効 有効
ExpressCard スロット • スマートカードスロット非内蔵モデルのみ	無効 有効
スマートカード • スマートカードスロット内蔵モデルのみ	無効 有効
SD スロット	無効 有効
IEEE1394 ポート	無効 有効
USB ポート	無効 有効
ポートリプリケーター USB ポート • 設定を変更する必要はありません。	無効 有効
レガシー USB •「USB ポート」または「ポートリプリケーター USB ポート」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。	無効 有効

セキュリティメニュー

下線は工場出荷時の設定です。

項目	設定
データ実行防止機能 ・「有効」にすると、ハードウェアデータ実行防止（DEP）機能が有効になります。	無効 有効
起動時のパスワード	無効 有効
▶ スーパーバイザーパスワード設定	サブメニュー表示
Setup Utility 表示 ・「無効」にすると、[Panasonic] 起動画面に [Press F2 for Setup / F12 for LAN] というメッセージが表示されません。ただし、メッセージが表示されなくても **F2** と **F12** は働きます。	無効 有効
Boot First Menu	無効 有効
ハードディスク保護 ・スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。	無効 有効
ユーザーパスワード保護	保護しない 保護する
▶ ユーザーパスワード設定 ・スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。	サブメニュー表示
▶ 内蔵セキュリティ（TPM）設定 ・セキュリティチップ（TPM）内蔵モデルのみ ・詳しくは『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。 (スタート）をクリックし、[検索の開始]に[c:¥util¥drivers¥tpm¥README.pdf] と入力して、**Enter**を押す。	サブメニュー表示
▶Computrace（R）設定	サブメニュー表示 (変更できません。)

起動メニュー

```
起動順位：
1: USB FDD:*2
2: Hard Disk: xxxxxxxxxx
3: USB CDD:
4: PCI LAN: xxxxxxxxxx
5:
6:
7:
8:
起動対象外：*3
  USB KEY:
  USB HDD:
  USB LS120:
```

*2 パナソニック製 USB フロッピーディスクドライブ（別売り：CF-VFDU03U）
*3 「起動対象外」の機器からは起動できません。

■ 起動順位を変更するには

順位を上げる：↑と↓で機器を選択して F6 を押す。
順位を下げる：↑と↓で機器を選択して F5 を押す。
「起動対象外」から「起動順位」へ、またはその逆に機器を移す：↑と↓で機器を選択し、X を押す。
初期設定に戻す：1 を押す。

お知らせ

- 工場出荷時の起動順位は「USB FDD」→「Hard Disk」→「USB CDD」→「PCI LAN」です。
- 次の機器から起動するには、下記の設定をしてください。

起動する機器	必要な設定
• USB 接続機器	:「USBポート」と「レガシー USB」を「有効」にする。(➔72ページ)
• LAN	:「LAN」を「有効」にする。(➔71 ページ)

- パソコン起動時に、起動する機器を選択することもできます。[Panasonic]起動画面が表示されたら、すぐにEscを押してください。「起動時のメニュー」が表示され、機器を選択することができます。「起動時のメニュー」は、「セキュリティ」メニューの「Boot First Menu」が「有効」に設定されているときのみ表示されます（➔73ページ）。「起動」メニューで設定を変更すると、それにともない「起動時のメニュー」も変更されます。

終了メニュー

設定を保存して終了	設定内容を保存して再起動する
設定を保存しないで終了	設定内容を保存せずに終了する
デフォルト設定	工場出荷時の設定に戻す
設定を戻す	設定内容を変更前の設定に戻す
設定を保存する	設定内容を保存する

ズームビューアー

画面の一部を拡大することができます。

ズームビューアーをインストールする

1 管理者のユーザーアカウントでログオンする。

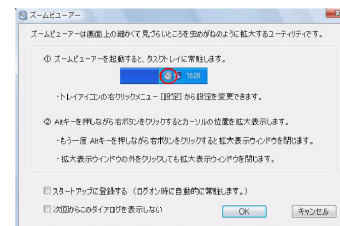
2 (スタート）をクリックし、[検索の開始]に[c:¥util¥loupe¥setup.exe]と入力してEnterを押す。

3 画面の指示に従ってインストールを行う。

ズームビューアーを起動する

1 (スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ズームビューアー]をクリックする。

2 [OK]をクリックする。

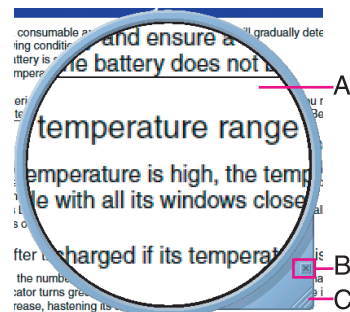
- 画面右下のタスクトレイにが表示されます。

ズームビューアーを使う

1 画面上の拡大したい部分にカーソル を合わせる。

2 Altを押したまま右クリックする。

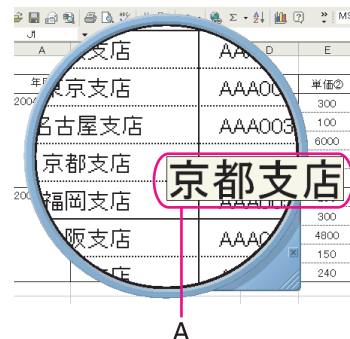
- カーソルを合わせた部分が拡大されます。
- をダブルクリックするか、を右クリックし[表示する]をクリックしても拡大できます。

3 **拡大表示ウィンドウ（A）をドラッグして、拡大表示される部分を動かす。**

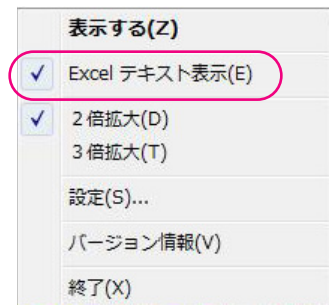
- 拡大表示ウィンドウを非表示にするには、（非表示ボタン）（B）をクリックしてください。
  または、拡大表示ウィンドウの範囲外でクリックするか、 Alt を押したまま右クリックしてください。
- 拡大表示ウィンドウのサイズを変更するには、右下の隅（C）をドラッグしてください。
  拡大／縮小できるサイズの範囲は、画面の解像度により異なります。

お知らせ

- 拡大表示ウィンドウの中のテキストや画像は、拡大表示された瞬間（例：Altを押したまま右クリックした瞬間）のものになります。元の画面で変更した内容を拡大表示ウィンドウに反映するには、拡大表示ウィンドウをクリックしてください。
- アプリケーションソフトによっては、ズームビューアーが働かない場合があります。

■ Excelのセルの文字を拡大表示するには

拡大表示ウィンドウの中央にあるセルの文字を、テキスト表示ウィンドウ（A）に大きく表示することができます。

① 画面右下のタスクトレイのを右クリックする。

② [Excelテキスト表示]にチェックマークを付ける。
- 工場出荷時はチェックマークが付いています。
- チェックマークを外すと、テキスト表示ウィンドウは表示されません。

表示する(Z)
Excel テキスト表示(E)
２倍拡大(D)
３倍拡大(T)
設定(S)...
バージョン情報(V)
終了(X)

お知らせ

- 次の場合、テキスト表示ウィンドウは表示されません。
  - お使いのExcelが、Microsoft® Excel 2000／Microsoft® Excel 2002／Microsoft® Office Excel 2003よりも前のバージョンの場合
    (上記よりも前のバージョンには対応していません。)
  - セル以外（テキストボックス、コメント、グラフなど）の文字の場合
  - 印刷プレビュー画面の場合
  - テンプレートを使用してファイルを新規作成し、そのファイルを保存していない状態（保存するとテキスト表示ウィンドウが表示されます。)
- 複数のウィンドウで、同じ名前のファイルを開いているときは、テキスト表示ウィンドウが表示されない場合があります。また、ファイルによってもテキスト表示ウィンドウが表示されない場合があります。
- テキスト表示ウィンドウで表示される文字は、1番手前に表示されているExcelファイル（選択されているExcelファイル）の拡大表示ウィンドウの中央にあるセルの文字です。
- セルからはみ出した文字上にカーソルがあった場合は、テキスト表示ウィンドウは表示されません。はみ出した文字が格納されているセル上にカーソル（拡大表示ウィンドウの中央部分）を移動させてください。

ズームビューアーを設定する

1 **画面右下のタスクトレイの を右クリックする。**

2 **[設定]をクリックする。**

表示する(Z)
Excel テキスト表示(E)
2 倍拡大(D)
3 倍拡大(T)
設定(S)...
バージョン情報(V)
終了(X)

[表示／非表示のショートカットキーの割り当て]

- 外部マウス／フラットパッドを使用するとき

① [マウス／タッチパッド]をクリックする。

② **Alt**、 **Ctrl**、 **Shift**の中から組み合わせるキーをクリックし、チェックマークを付ける。（複数キーの組み合わせが可能です。例：**Ctrl**+**Alt**)

③ [右クリック]または[左クリック]のいずれかのうち、上記の手順②で選択したキーと組み合わせて使うものを選択してください。

- キーボードを使用するとき

① [キーボード]をクリックする。

② エディットボックスをクリックし、ショートカット用に使うキーを押す。
(例：**Alt** + **Z**、 **Ctrl** + **Alt** + **Z**など)

[ウインドウデザイン]
拡大表示ウィンドウの形を選択します。

[起動]
ズームビューアーの自動起動と説明ウィンドウのオン／オフを切り替えることができます。

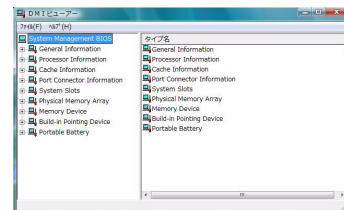
[デフォルト]
クリックすると工場出荷時の設定に戻ります。

3 **[OK]をクリックする。**

DMI ビューアー

本機は、DMI（Desktop Management Interface）の規格に準拠しています。DMI ビューアー使って、CPU やメモリー、本機がサポートしているシステムなどのパソコンの情報を確認できます。

1 **（スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [DMIビューアー]をクリックする。**
DMIビューアーの画面が表示されます。

2 **詳細を表示するには、各項目をクリックしてください。**

■ 情報をテキストファイルで保存するには

① **表示された項目を保存するとき**
[ファイル] - [表示中のデータを保存]をクリックする。
すべての項目を保存するとき
[ファイル] - [すべてのデータを保存]をクリックする。

② フォルダーを選択し、ファイル名を入力して[保存]をクリックする。

ネットワーク接続と通信ソフトウェアについて

省電力機能は、通信ソフトウェアを終了してからお使いください。

- 通信ソフトウェアを使用中に省電力機能（スリープ機能や休止状態機能）が働くと、ネットワーク接続が切れたり、パフォーマンスが低下することがあります。その場合はパソコンを再起動してください。
- ネットワーク環境でお使いのときは、[コンピュータをスリープ状態にする]と[次の時間が経過後休止状態にする]を[なし]に設定することをお勧めします。（➔17ページ）

Windows 関連ファイルについて

Windows Vista DVD-ROM に収録された Windows 関連ファイルは、下記のフォルダーにインストールされています。
c:¥windows¥support¥migwiz、c:¥windows¥support¥tools

シリアル機器について

本機の COM ポートは下記のように割り当てられています。

- COM1：シリアルポート A

設定を変更すると、シリアル機器が正常に動作しないことがあります。

トラブルが発生した場合は、以下の方法をお試しください。以下の方法でも解決しない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。ソフトウェアに関する問題は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

• パソコンの使用状態を確認するには（➔91 ページ）

■ 終了時

Windows の終了または再起動ができない。	● USB 機器を取り外してください。 ● 終了するまで 1 ～ 2 分かかる場合があります。

■ スリープ・休止状態機能

スリープまたは休止状態に入ることができない。	● USB 機器をいったん取り外してください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。 ● スリープ・休止状態に入るまで 1 ～ 2 分かかる場合があります。 ● モデム経由で通信している場合、パソコンがスリープ状態に入らないことがあります。 ● リジューム直後はスリープ・休止状態には入りません。約 1 分間お待ちください。
自動的にスリープまたは休止状態に入らない。	● 周辺機器を取り外してください。 ● 無線 LAN 機能を使ってネットワークに接続している場合は、アクセスポイントの設定を実行してください（➔56 ページ）。 ● 無線 LAN 機能を使わない場合、無線 LAN 機能の電源を切ってください（➔52 ページ）。 ● ハードディスクに定期的にアクセスするソフトウェアを使っていないか確認してください。
パソコンがリジュームしない。	● 電源スイッチを 4 秒以上スライドさせると、パソコンが強制終了し、リジュームしません。その場合、保存されていないデータはすべて失われます。 ● パソコンがスリープ状態のときに、AC アダプターとバッテリーパックを取り外しませんでしたか？ スリープ中に電力の供給がなくなると、保存されていないデータは失われ、パソコンはリジュームしません。 ● バッテリー残量がありません。スリープまたは休止状態でも電力は消費されます。

■ ディスプレイ

ディスプレイに[電源オプション]画面が表示されるまで時間がかかる。	● 次の手順を実行し、省電力設定ユーティリティの設定により[パナソニックの電源管理のコピー]が 100 件以上作成されていないか確認してください。 ① 画面右下のタスクトレイのまたは をクリックし、[その他の電源オプション]をクリックする。 ② [追加のプランを表示します]をクリックする。 [パナソニックの電源管理のコピー]が 1 件以上表示されたときは、削除する電源プランを選んで[プラン設定の変更] - [このプランを削除]をクリックし、削除してください。

■ サウンド

音が聞こえない。	● Fn+F4 または Fn+F6 を押してミュートを解除してください。 ● パソコンを再起動してください。
音が乱れる。	● Fn とのキーの組み合わせによる操作をすると、音が乱れることがあります。再生をいったん停止し、再生し直してください。
Fn+F5 または Fn+F6 で音量を変更できない。	● Windowsサウンド機能を有効に設定してください。サウンド機能が働いていないと、が表示されても音量は変化しません。
ログオン時（パソコンのリジューム時など）に音声がひずむ。	● 次の手順を実行し、サウンド設定を変更して音声出力を停止してください。 ① デスクトップを右クリックし、[個人設定] - [サウンド] をクリックする。 ② [Windows スタートアップのサウンドを再生する]のチェックマークを外す。

■ キーボード

日本語が入力できない。	● 半角 / 全角を押して日本語入力モードにしてください。
数字しか入力できない。	● NumLK ランプ 1 の点灯中は、キーボードがテンキーモードになっています。NumLk を押して解除してください。
大文字しか入力できない。	● Caps Lock ランプ A の点灯中は、キーボードが大文字入力モードになっています。 Shift+Caps Lock を押して解除してください。
特殊文字（ß、à、ç など）や記号が入力できない。	● 文字コード表を使ってください。(スタート)- [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システム ツール] - [文字コード表] をクリックしてください。
タブレットモードでキーボードを使うことができない。	● Tablet PC 入力パネルを使ってください。（詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。）

■ 画面回転

ラップトップモードとタブレットモードを切り替えたとき、画面が自動的に回転しない。	● それぞれのモードの標準角度を正しく設定してください。（➔13 ページ） ● ユーザーの簡易切り替え機能でユーザーの切り替え処理が終わるまでは、モードを切り替えないでください。
画面を回転できない。	● 起動中のアプリケーションソフトをすべて閉じてください。 ● 無線切り替えユーティリティがインストールされていないと、タブレットモードで画面を 90°または 270°に回転できない場合があります。再インストールするときは (スタート）をクリックし、[検索の開始] に [c:¥util¥wswitch¥setup.exe] と入力して **Enter** を押してください。
フラットパッドやタッチパネルの操作と画面の回転角度が合わない。	● Windows を起動した直後は、操作と画面の回転角度は合いません。 ● 起動中のアプリケーションソフトを閉じ、操作と回転角度が合うまで回転ボタンを押してください。アプリケーションによっては操作と画面の回転角度は合いません。また、[画面のプロパティ]や Intel(R) Graphics Media Accelerator Driver for Mobile で画面設定を変更した場合も、操作と画面の回転角度は合いません。

■ ネットワーク

ネットワークに接続できない。	● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「LAN」または「LAN」と「モデム」を「有効」に設定してください。（➔71 ページ）
パソコンの MAC アドレスが確認できない。	● 次の手順を行ってください。 ① (スタート) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンド プロンプト]をクリックする。 ② [getmac/fo list /v]と入力し**Enter**を押す。 ● “fo”と“list”の間、“list”と“/v”の間にはそれぞれスペースを挿入してください。 ③ 無線 LAN の MAC アドレス 「Intel(R) Wireless WiFi Link 4965AG」の[物理アドレス]と表示された行の 12 けたの英数字をメモする。 LAN の MAC アドレス： 「Marvell Yukon 88E8055 PCI-E Gigabit Ethernet Controller」の[物理アドレス]と表示された行の 12 けたの英数字をメモする。 ④ [exit]と入力し**Enter**を押す。

■ 無線通信（無線 LAN／Bluetooth内蔵モデルのみ）

ネットワークに接続できない。	● 無線スイッチをスライドし、無線機器をオンにしてください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「無線LAN」、または「Bluetooth」を「有効」に設定してください。（➔72ページ） ● パソコンを再起動してください。 ● 画面回転ツールをアンインストールすると、無線 LAN をオンにすることができません。 再インストールするときは（スタート）をクリックし、[検索の開始]に[c:¥util¥disprot¥setup.exe]と入力して**Enter**を押してください。
無線 LAN のアクセスポイントが検出されない。	● パソコンとアクセスポイントの距離を近づけて、再度検出してください。 ● 次の設定内容を確認してください。 ・セットアップユーティリティの「詳細」メニューの「無線LAN」の設定状態 「無線LAN」が「有効」に設定されているか確認する。（➔72ページ） ・無線スイッチの状態 無線スイッチをオン側へスライドする。 ・無線切り替えユーティリティの状態 「無線LAN」が「オン」になっているか確認する。（➔53ページ） ● IEEE802.11b/g を使う場合、本機はチャンネル 1 ～ 13[*1] を使用して接続を行います。このチャンネルがアクセスポイントで使用されているかどうか確認してください。 *1 無線接続を行う場合、使用される周波数帯域をセグメントに分割し、各帯域セグメントを用いて別個の接続を行うことができます。「チャンネル」とは分割された個々の周波数帯域幅をいいます。

■ 周辺機器を接続する

ドライバーのインストール中にエラーが発生する。	● カードや周辺機器のドライバーをインストールする場合は、OS に対応していることをご確認ください。未対応のドライバーを使用すると、誤動作につながる場合があります。ドライバーについては、周辺機器の製造元にお問い合わせください。

■ 周辺機器を接続する

周辺機器が動作しない。	● ドライバーをインストールしてください。 ● 機器の製造元にお問い合わせください。 ● スリープ・休止状態からリジュームした後、マウスやモデム、PC カードなどが正しく動作しないことがあります。その場合はパソコンを再起動するか、機器を再度初期化してください。 ● デバイスマネージャで⚠が表示される場合は、機器を抜き挿ししてください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。 ● 機器の中には、パソコンが取り付け／取り外しを認識しなかったり、正常に動作しなかったりするものがあります。次の操作を行ってください。 ① (スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックする。 ● 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。 ② 該当の機器を選択し、[電源の管理]の[電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]のチェックマークを外す。（この項目がない場合もあります。）
接続しているマウスが動作しない。	● マウスの接続を確認してください。 ● マウスに対応するドライバーをインストールしてください。 それでもマウスが動作しない場合は、セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「フラットパッド」を「無効」に設定してください。(➔70 ページ)
USB フロッピーディスクドライブが、起動ドライブとして動作しない。	● パナソニック製 USB フロッピーディスクドライブ（CF-VFDU03U）（別売り）のみお使いいただけます。 ● フロッピーディスクドライブを、直接パソコンの USB ポートに接続してください。USB ハブなどの USB コネクターを経由して接続しないでください。パソコンの USB ポート にすでに接続している場合は、別の USB ポートに接続してみてください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「USBポート」と「レガシー USB」を「有効」に設定してください。(➔72ページ) ● セットアップユーティリティの「起動」メニューで、「USB FDD」を「起動順位」の一番上に上げてください。(➔74 ページ) ● パソコンの電源を切り、USB フロッピーディスクドライブを接続後、パソコンを再起動してください。

■ 周辺機器を接続する

RAM モジュールが認識されない。	● RAM モジュールを正しく取り付けてください。 ● 仕様に合った RAM モジュールをお使いください（➔39 ページ）。 ● セットアップユーティリティの「情報」メニューをご確認ください（➔69 ページ）。RAM モジュールが認識されていない場合は、パソコンの電源を切り、取り付け直してください。
割り込み要求（IRQ）、I/O ポートアドレスなどのアドレスマップがわからない。	● 次の手順で確認することができます。 ① (スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャ]をクリックする。 ● 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。 ② [表示] - [リソース(種類別)]をクリックする。
シリアルコネクターに接続している機器が動作しない。	● 接続を確認してください。 ● 機器のドライバーは働いていますか？詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。 ● 同時に、2 個のマウスを使わないでください。 ● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「フラットパッド」を「無効」に設定してください。（➔70 ページ） ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「シリアルポート設定」サブメニューの「シリアルポートA」または「シリアルポートB」を「自動」に設定してください。（➔71ページ） ● 使用できる I/O と IRQ は、機器により異なります。動作しないときは、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、シリアルポート A の「I/O」と「IRQ」の設定を変更してみてください。
印刷できない。	● プリンターの接続を確認してください。 ● プリンターの電源を入れてください。 ● プリンターはオンラインになっていますか？ ● 用紙がなかったり、つまったりしていませんか？ ● プリンターの電源を入れてパソコンに接続後、パソコンを再起動してください。

■ 周辺機器を接続する

LAN の通信速度が極端に遅くなる。 PC カードを経由したデータ通信が正常に動作しない（IEEE1394 PC カードを使って DV カメラに書き出す場合に動画が乱れるなど）。 < 無線 LAN 内蔵モデルのみ > 無線 LAN の接続が切断される。	● 次の設定をしてみてください。 （スタート）- [コントロールパネル] - [システムとメンテナンス] - [電源オプション]をクリックし、[高パフォーマンス]を選択してウィンドウを閉じる。

■ フラットパッド／タッチパネル

カーソルが動かない。	● 外部マウスを正しく接続してください。 ● キーボードを操作して、パソコンを再起動してください。 を押し、 を 3 回押し、 を押し、[再起動] を選択して Enter を押してください。 ● キーボードで操作できない場合は、「応答がない。」をご覧ください。（➔90 ページ）
フラットパッドを使って入力できない。	● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「フラットパッド」を「有効」に設定してください。（➔70 ページ） ● マウスのドライバーの種類によっては、フラットパッドが使えないことがあります。詳しくはマウスの取扱説明書をご覧ください。
付属のスタイラスペンで正しい位置を指定できない。	● タッチパネルの補正（キャリブレーション）を実行してください。（➔10 ページ）
タッチパネルを使って入力できない。	● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「タッチパネルモード」を「自動」または「タブレット」に設定してください。（➔70 ページ）
Internet Explorer でフラットパッドのスクロール機能を使用できない。	● タッチパネルを使用してください。 ● マウスカーソルを Internet Explorer の外へ移動してから、改めて内側へ戻してみてください。

■ PC カード／エクスプレスカード（スマートカードスロット非内蔵モデルのみ）

カードが使えない。	● カードは正しく挿入されていますか？ ● 規格に合ったカードをお使いください。 ● カードまたはその他の機器のドライバーをインストールした後、パソコンを再起動してください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「PCカードスロット」と「ExpressCardスロット」を「有効」に設定してください。（➔72ページ） ● ポートを正しく設定してください。 ● カードの取扱説明書をご覧になるか、カードの製造元にお問い合わせください。 ● カードを入れ直してください。（➔31 ページ） ● OS に対応したドライバーをお使いください。

■ SD メモリーカード

SD メモリーカードが使えない。	● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「SDスロット」を「有効」に設定してください。（➔72ページ）

■ スマートカード（スマートカードスロット内蔵モデルのみ）

スマートカードが使えない。	● スマートカードを正しく挿入してください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「スマートカード」を「有効」に設定してください。（➔72 ページ） ● スマートカードをお使いになる場合には、専用のソフトウェアをご用意ください。

■ ユーザーの簡易切り替え機能

アプリケーションソフトなどが正しく動作しない。	● ユーザーの簡易切り替え機能を使用して別のユーザーに切り替えると、以下のような問題が起きる場合があります。 • アプリケーションソフトが正しく動作しない。 • **Fn** とのキーの組み合わせが動作しない。 • 画面の設定ができない。 • シリアルマウスが動作しない。 • < セキュリティチップ（TPM）内蔵モデルのみ > 内蔵セキュリティチップ（TPM）の Personal Secure Drive が動作しない。 • < 無線 LAN 内蔵モデルのみ > 無線 LAN が使えない。 • <Bluetooth 内蔵モデルのみ > Bluetooth が使えない。 このような場合は、ユーザーの簡易切り替え機能を使わずにすべてのユーザーをログオフした後、再度ログオンして操作してください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。

■ その他

応答がない。	● **Ctrl**+**Shift**+**Esc** を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 入力待ち画面（起動時のパスワード入力画面など）が別のウィンドウで隠れていませんか？ **Alt**+**Tab** で表示されている画面を確認してください。 ● 電源スイッチを4秒以上スライドしてパソコンの電源を切った後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。それでも正常に動作しない場合は、(スタート) - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール]をクリックして、アプリケーションソフトをいったん削除してから再度インストールしてください。

パソコンの使用状態を確認する

PC 情報ビューアーを使うと、パソコンの使用状態を確認することができます。ご相談窓口にお問い合わせの際の情報として必要になる場合があります。

お知らせ

- 本機では、ハードディスクドライブの管理情報（通電時間、通電回数、内部温度、交替セクター数等）がハードディスク内に定期的に記録されます。記録されるデータ量は、1回あたり最大750バイトです。これらの情報は、万が一、ハードディスクが故障したときの原因を推定するためにのみ使用するもので、本情報をネットワーク経由で外部に発信したり、目的以外に使用したりすることはありません。
  この機能を無効にするには、PC 情報ビューアーの[ハードディスク使用状況]の[管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする] のチェックボックスにチェックマークを付けて[OK]をクリックしてください。
  - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。
- 実行中は、PC情報ビューアーの画面は、常に手前に表示されます。

1 **（スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ビューアー]をクリックする。**

2 **項目をクリックして、その項目の詳細情報を表示する。**

■ 情報をテキストファイルで保存する

1 **保存したい情報を表示する。**

2 **[保存]をクリックする。**

3 **ファイル保存する範囲を選択し、[OK]をクリックする。**

4 **情報を保存するフォルダーを選択し、ファイル名を入力して[保存]をクリックする。**

- [管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする]にチェックマークが付いていない場合、[すべての情報を保存する]を選ぶと、記録済みのハードディスクドライブ管理情報も保存されます。

■ 画面のコピーを画像ファイルで保存する

1 **保存したい画面を表示する。**

2 **Ctrl+Alt+F8 を押す。**

3　メッセージが表示されたら[OK]をクリックする。

[ドキュメント]フォルダーに画面の画像ファイルが保存されます。

- 次の操作で保存することもできます。
  （スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [画面コピー]をクリックする。

お知らせ

- 画像は256色のビットマップファイルです。
- 拡張デスクトップモード（➔42ページ）を使用しているときは、プライマリーデバイス側に表示している画面が保存されます。
- 工場出荷時は、コピーするキーの組み合わせはCtrl+Alt+F8になっています。次の手順で変更することもできます。
  ① （スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー]をクリックする。
  ② [画面コピー]を右クリックし、[プロパティ] - [ショートカット]をクリックする。
  ③ [ショートカット キー]の入力欄をクリックし、ショートカットに使うキーを押す。
  ④ [OK]をクリックする。
  - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

- Microsoft とそのロゴ、Windows 、Windows Vista、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Core、Centrino、PROSet は、米国 Intel Corporation の商標または登録商標です。
- SDHC ロゴは商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- PhoenixBIOS は、Phoenix Technologies Ltd. の商標または登録商標です。
- PS/2® は International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Bluetooth™ は、その権利者が所有している商標であり、松下電器産業株式会社はライセンスに基づき使用しています。
- Panasonic は、松下電器産業株式会社の登録商標です。
- 本書に記載の製品名、ブランド名などは、各社の商標または登録商標です。

PCJ0228W_V